



Prioα

プリンタードライバー
操作手順書



使用条件

このガイドのすべて、または一部を許可なく複製することは禁じられています。

このガイドに含まれる情報は、性能改善のため、予告なく変更される場合があります。

ここに記載された情報には関係なく、本製品の使用に伴って生じたいかなる問題にも、当社は責任を負いません。

商標について

Prioa、 および  は、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Windows Vista®、および Windows Server® は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。PCL® は、Hewlett-Packard Company の商標です。TrueType® と Mac OS® は、Apple Inc. の登録商標です。Adobe®、Acrobat®、Adobe Reader®、Photoshop® および PostScript® は Adobe Systems, Incorporated の商標です。本書で使用されているその他のすべてのブランド名および製品名は、それを所有する各企業の登録商標または商標です。

本書で説明している操作は、Windows 7 の印刷環境での操作を例としています。操作方法は Microsoft Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 環境で、基本的に同じです。

本書で使用している表示画面などは、使用するプリントデバイスによって、本書と異なる場合があります。

本書は 6.2 ドライバー向けに作成されたものです。

目次

1 インストール

ドライバー	1-1
ドライバーのインストール準備	1-1
コミュニケーション設定	1-2
コミュニケーション設定を指定	1-2
エクスプレスインストール	1-2
エクスプレスインストールを使用したインストール	1-2
カスタムインストール	1-4
カスタムインストールを使用したインストール	1-4
ユーティリティのみのインストール	1-6
ドライバーのプロパティの編集	1-7
ユーティリティのプロパティ編集	1-7
アップグレード	1-8
ドライバーコンポーネントのアップグレード	1-8
メンテナンス	1-8
プリンターの追加コンポーネント	1-9
ドキュメント	1-9
アンインストール	1-9
ドライバーコンポーネントのアンインストール	1-10
プリンタードライバーの設定について	1-10
デフォルトのドライバー設定の変更	1-10

2 ドライバーの概要

オーバービューイメージ	2-1
印刷設定で PDL を選択する	2-2
設定リスト	2-2
印刷プレビュー	2-2
印刷ジョブをプレビュー	2-3
バージョン情報	2-3
バージョン情報の表示	2-3
プラグイン情報の表示	2-3

3 デバイス設定

デバイス設定へのアクセス	3-1
デバイスオプション	3-1
使用できるオプションの設定	3-2
ユーザーボックスの設定	3-2
自動設定	3-2
自動設定の有効化	3-3
メモリー	3-3
メモリーの設定	3-3
RAM ディスク	3-4
RAM ディスクの設定	3-4
管理者設定	3-4
一般	3-4

簡単設定タブを表示する	3-4
カウント情報	3-5
アプリケーション名を発行	3-5
アプリケーション別の印刷設定を有効にする	3-5
パスワードで管理者設定を保護する	3-5
初期設定プロファイルを隠す	3-6
SNMP 設定	3-6
SNMPv3オプション	3-6
ジョブの E メール通知	3-7
E メール通知オプションを選択	3-8
ロック設定	3-8
ロック設定のオプション	3-8
ドライバー設定のロック	3-9
ユーザー管理	3-9
ユーザー管理のオプション	3-10
ユーザー管理を使用して印刷	3-11
部門管理	3-11
部門管理オプション	3-12
部門コードを追加または編集	3-13
部門管理を使用して印刷	3-13
ユーザー設定	3-14
ユーザー登録	3-14
単位	3-14
ページ記述言語 (PDL)	3-14
PDL オプション	3-15
PDF	3-17
PDFオプション	3-17
XPS ドライバー	3-19
XPS オプション	3-19
互換性設定	3-20
給紙方法の設定	3-20
フェイスアップ出力時に逆順出力しない	3-20
ドライバーの部単位設定を優先する	3-21
給紙元リストにメディアタイプも表示する	3-21
プラグインの削除	3-21

4 簡単設定

簡単設定オプション	4-1
印刷の向き	4-1
部単位印刷	4-2
両面印刷	4-2
ページ集約	4-2
エコプリント	4-2
簡単印刷オプションの編集/追加	4-3
簡単設定オプションの選択	4-3
プロファイル	4-4
プロファイルの選択	4-4
プロファイルの保存	4-4
プロファイルの編集	4-5
プロファイルの削除	4-5
プロファイルのインポート	4-6
プロファイルのエクスポート	4-6
アプリケーション別の印刷設定	4-6

5 基本設定

出力用紙サイズ	5-1
---------------	-----

原稿サイズ	5-1
カスタム用紙サイズの作成	5-2
カスタム用紙サイズの削除	5-2
カスタム用紙サイズを使用して印刷	5-2
用紙種類	5-3
給紙元	5-3
排紙先	5-3
部数	5-3
カーボンコピー	5-3
カーボンコピーを印刷	5-4
部単位印刷	5-4
文書の部単位印刷	5-4
印刷の向き	5-5
両面印刷	5-5
両面印刷モードで印刷	5-6
エコプリント	5-6
エコプリントの選択	5-6
6 レイアウト	
ページ集約	6-1
ページ集約印刷	6-1
変倍	6-2
ページ内での変倍の設定	6-2
とじしろ	6-2
とじしろの作成	6-2
ポスター印刷	6-3
ポスター印刷	6-4
ブックレット印刷	6-4
ブックレット印刷	6-4
7 印刷品質	
印刷品質とカスタム品質	7-1
印刷品質の選択	7-1
フォント詳細設定	7-2
フォント詳細設定オプション	7-2
フォント詳細設定の選択	7-3
フォント代替えの設定	7-3
プリンターフォントを使用しない	7-4
グラフィック詳細設定	7-4
パターンスケーリング	7-4
細線化	7-5
反転のオプション	7-5
イメージデータ方式	7-5
CIE オプション	7-6
ハーフトーンスクリーン	7-6
半速モード	7-7
エコプリント	7-7
エコプリントの選択	7-7
白黒印刷のバランス調整	7-8
白黒設定の調整	7-8
テキストと図の効果	7-8
8 表紙/合紙	
表紙付け	8-1
表紙付けオプション	8-2

表紙の印刷	8-4
OHP 合紙	8-5
OHP フィルム間への合紙の挿入	8-5
合紙	8-5
合紙印刷の組み合わせ	8-6
合紙印刷	8-6

9 ジョブ保存

ジョブ拡張機能	9-1
ジョブ拡張機能のオプション	9-2
ユーザーボックス	9-2
ユーザーボックスにジョブを保存	9-2
クイックコピー	9-3
クイックコピージョブの印刷	9-4
試し刷り後、保留	9-4
試し刷り後、保留ジョブの印刷	9-4
プライベートプリント	9-4
プライベートプリントジョブの保管	9-5
ジョブ保留	9-5
ジョブ保留ジョブの保管	9-6
ジョブ名	9-6
アプリケーション名をジョブ名に使用しない	9-6
上書きモード	9-6
ジョブ名を選択	9-7

10 拡張機能

プロローグ/エピローグ	10-1
挿入箇所オプション	10-2
プロローグ/エピローグファイルの選択と割り当て	10-2
プロローグ/エピローグファイルの編集	10-3
プロローグ/エピローグファイルの削除	10-3
ウォーターマーク	10-3
ウォーターマーク文字列を追加または編集	10-4
ウォーターマークイメージを追加または編集	10-5
セキュリティ・ウォーターマーク	10-6
セキュリティ・ウォーターマークの追加または編集	10-7
ステータスマニター通知	10-9
ステータスマニター通知の設定	10-9
ステータスマニターの表示	10-9
EMF スプール	10-10
EMF スプールの選択	10-10
静音モード	10-10
クライアントプロファイルの有効化	10-10

1 インストール

プリンタードライバは、プリンターと PC 間の通信を制御するアプリケーションです。

インストールが完了したら、プリンターの **【プロパティ】** および **【印刷設定】** 画面でプリンタードライバの設定を行います。

【Product Library】 ウィンドウには、インストール方法が2つあります。 **【エクスプレスインストール】** は、ドライバとパッケージ形式にまとめた特定の機能を選択して、すばやくインストールする方法です。 **【カスタムインストール】** では、任意のドライバとユーティリティを選択します。

【アップグレード】 では、ドライバとユーティリティを最新のバージョンに更新できます。これは、アップグレードが必要な製品がある場合にのみ利用できます。クライアント/サーバー環境では、古いドライバをアップグレードできません。詳しくは、プリントシステムの販売店にお問い合わせください。

【メンテナンス】 では、特定のユーティリティを実行できます。リリースノート、本体の使用説明書、その他のマニュアルを表示するには、 **【ドキュメント】** を選択します。 **【アンインストール】** では、ドライバとユーティリティを削除できます。

参考: Windows にプリンタードライバをインストールする場合は、管理者権限を持ったユーザーでログインする必要があります。

ドライバ

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista、および Windows Server 2008 の場合、プリントシステムが USB で接続され、認証ドライバが利用可能で PC がウェブに接続している環境では、ドライバは Microsoft Windows Update からインストールできます。

ドライバの拡張機能を利用できるように、提供されているインストールディスクからのドライバのインストールを続行することをお勧めします。

Windows で、インストール中に **【新しいハードウェアの検索ウィザード】** ダイアログボックスが開いた場合は、 **【キャンセル】** をクリックします。 **【ハードウェアのインストール】** 警告ダイアログボックスが開いたら、 **【このドライバソフトウェアをインストールします】** をクリックします。

ドライバのインストール準備

- 1 PC とプリンターの電源を入れます。
- 2 **【Product Library ディスク】** をディスクドライブに入れます。アプリケーションが自動で開始されます。

参考: **【Product Library ディスク】** をディスクドライブに入れても起動しない場合、Windows Explorer を使用して、ローカルドライブの **【Setup.exe】** をダブルクリックすると起動します。

- 3 表示される使用許諾契約書を読み、同意して、次に進みます。
- 4 **[Product Library]** ウィンドウ下部にある言語リストから、表示する言語を選択します。

コミュニケーション設定

[コミュニケーション設定] アイコンで、デバイスの検出中に使用される **SNMP** **[リードコミュニティ名]** を指定できます。この名前は、**SNMP** 通信のパスワードのようなものです。デフォルトの名前は、**[public]** です。管理者はより制限のある名前に変更することができます。検出中または最低 1 つの検出デバイスが **[インストールするプロダクト]** リストに追加されている場合、**[コミュニケーション設定]** アイコンは使用できません。

コミュニケーション設定を指定

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[エクスプレスインストール]** または **[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 **[デバイス]** ボックスの下にある、**[コミュニケーション設定]** アイコンをクリックします。
- 3 **[コミュニケーション設定]** ダイアログボックスのテキストボックスに、**[リードコミュニティ名]** を入力します。**[リセット]** をクリックすると、テキストボックスをデフォルト名 (**[public]**) に戻せます。
- 4 **[OK]** をクリックします。

参考: 異なる **[リードコミュニティ名]** を入力した場合、**[デバイス]** リストがクリアされます。丸い矢印の**[更新]** アイコンをクリックして、デバイスを再検出します。

エクスプレスインストール

[エクスプレスインストール] は、**Windows** オペレーティングシステムで **USB** またはネットワーク接続されているデバイス、ドライバ、ユーティリティを簡単にインストールします。インストーラーは、**USB** またはネットワークケーブルで接続され、電源の入ったデバイスを検出します。同時に 1 つ以上の機能パッケージをインストールできます。

インストーラーで目的のプリントシステムが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

参考: **[ステータスマニター]** を使用するには、**.NET Framework 4.0** 以降をインストールする必要があります。

エクスプレスインストールを使用したインストール

- 1 お使いのプリントシステムと **PC** の電源が入っていて、**USB** ケーブル、またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2 **[エクスプレスインストール]** では、インストーラーが接続されているプリントシステムを検出します。検出されたデバイスは、モデル名とポート名が示されたアイコンとしてすべてデバイスリストに表示されます。

目的のデバイスが検出されたら、デバイスリストでモデルを選択します。

目的のデバイスが見つからない場合、**USB** またはネットワークケーブルを取り外し、再度挿入後、適切に接続されているか確認します。丸い矢印アイコンをクリックして、検出を更新します。

- 3 また、デバイスリストの上にある検索ボックスに、完全または一部の検索文字列を入力して、デバイスを検出することもできます。モデル名、IP アドレス、または **USB** ポートでデバイスを検索できます。結果はデバイスリストに表示されます。目的のデバイスが見つかったら、それを選択します。テキストボックスをクリアする場合は **[x]** アイコンをクリックし、検出されたすべてのデバイスのリストに戻ります。
- 4 **[ポート名にホスト名を使用]**を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用するように設定することもできます。（**USB** 接続では使用できません。）
- 5 インストーラーは、機能リストにあるパッケージを自動的に選択します。各パッケージをクリックすると、選択する / しないを切り替えることができます。アイコンにマウスポインターを乗せると、コンテンツの説明が表示されます。
- 6 設定を確認します。**[インストール]** ボタンを有効にするために、デバイスと機能を最低 1 つ選択する必要があります。設定が正しいことを確認して、**[インストール]** をクリックします。
- 7 インストール中、矢印をクリックすると、インストールの詳細を展開または折りたたむことができます。インストールが正常に終了すると、**[完了]** ページで、次のオプションを選択できます。プリンター ドライバーのインストール後にのみオプションが表示されます。

[テストページを印刷]

このチェックボックスを選択し、プリントシステムの接続と動作をテストします。正常にインストールされている場合、コンピューター名とプリンタードライバの情報、およびポート設定が含まれた **[Windows プリンターテストページ]** が、新たにインストールされたプリントシステムで印刷されます。

[デバイス設定]

チェックボックスをオンにすると、プリントシステムに装着されたオプションを選択する **[デバイス設定]** が開きます。（**[デバイス設定]** チェックボックスは、ネットワーク接続の Windows XP でのみ表示されます。）

[イベントの通知を有効にする]

[ステータスモニター通知] ダイアログボックスで、イベントの通知を有効にするチェックボックスを選択します。**[拡張機能]** タブの **[ステータスモニター]** をクリックすると、**[ステータスモニター通知]** ダイアログボックスが表示されます。

[簡単設定タブを表示する]

[簡単設定] タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** でも表示されます。

プラス (+) アイコンをクリックし、オプションのリストを展開します。

[初期画面を簡単設定タブにする] オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **[簡単設定]** タブとなります。

[初期画面を基本設定タブにする] オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **[基本設定]** タブとなります。

【簡単設定タブ以外を隠す】 オプションを使用すると、ドライバーのタブが**【簡単設定】** タブのみとなります。

8 インストーラーを終了するには、**【完了】** をクリックします。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。**【完了】** をクリック後、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリントシステムのインストールが完了しました。必要に応じて、コンピュータを再起動してください。

カスタムインストール

【カスタムインストール】 は、Windows オペレーティングシステムで、USB、パラレル、またはネットワーク接続されているデバイス、ドライバー、ユーティリティを任意にインストールします。インストーラーは、USB またはネットワークケーブルで接続され、電源の入ったデバイスを検出しますが、プリントデバイスの機種とポート名を手動で選択することもできます。

【カスタムインストール】 で選択した項目は、青の背景で表示されます。ドラッグアンドドロップ機能がサポートされています。矢印をクリックして、選択ボックスを展開または折りたたむことができます。各リストから 1 つ以上の製品をインストールできますが、必ず製品を選択し、**【インストールするプロダクト】** リストに移動する必要があります。プリントシステムまたはドライバーなしで、ユーティリティをインストールすることもできます。

Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 でのみ、XML Paper Specification (**[XPS]**) ドライバーは、最も効率的に文書の表示、処理、印刷を行います。

インストーラーで目的のプリントデバイスが見つからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

参考: **【ステータスモニター】** を使用するには、.NET Framework 4.0 以降をインストールする必要があります。

カスタムインストールを使用したインストール

- 1** お使いのプリントデバイスとコンピュータの電源が入っていて、USB、パラレル、またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2** **【Product Library】** ウィンドウで、**【カスタムインストール】** をクリックします。
プリントデバイスを検出する場合は、手順 **3** に進みます。プリントデバイスのモデルやポート名を追加する場合は、手順 **5** に進みます。
- 3** **【カスタムインストール】** ウィンドウでは、接続されているプリントデバイスを、インストーラーが検出します。検出されたプリントデバイスは、モデル名とポート名が示されたアイコンとしてすべて **【デバイス】** リストに表示されます。アイコンを非表示にしてリストを表示する場合は、**【デバイス】** リストの下にある **【リストビューに切替】** アイコンをクリックします。**【デバイス】** リストの下にあるアイコンをクリックして、すべてのデバイスの選択 / 選択解除ができます。プリントデバイスが検出されなければ、手順 **5** に進みます。

- 4 **[デバイス]** リストからプリントデバイスを選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。手順 6 に進みます。
- 5 検出で自動的にプリントデバイスを追加しない場合、またはパラレルケーブルで接続されている場合は、手動で追加できます。**[カスタムデバイスの追加]** アイコンをクリックします。
[デバイス] ダイアログボックスで、サポートされているモデルの**[モデル]** リストと、ローカルおよびネットワークポートの**[ポート名]** リストから選択します。パラレル接続の場合は、**[LPT1]** を選択します。目的のデバイスに接続されているポートを追加する場合は、**[ポートの追加]** をクリックします。**[デバイス]** ダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。デバイスは、**[インストールするプロダクト]** リストに表示されます。
- 6 **[ドライバー]** リストからドライバーを選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。**[インストール]** ボタンを有効にするには、1 つ以上のドライバーが必要です。
- 7 **[ユーティリティー]** リストからユーティリティーを選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストにユーティリティーを移動します。より新しいバージョンのユーティリティーがインストールされている場合、ユーティリティーはリスト内で無効になり、新しいバージョンがすでにインストールされていることを知らせるメッセージが表示されます。
- 8 **[インストールするプロダクト]** リストから製品を削除する場合、製品を選択し、リストボックスの下部にある **[削除]** をクリックします。製品をすべて削除する場合は、**[すべて削除]** をクリックします。
- 9 **[ポート名にホスト名を使用]** を選択して、標準 TCP/IP ポートのホスト名を使用するように設定することもできます。（USB、パラレル接続では使用できません。）
- 10 **[インストールするプロダクト]** リストでのデバイスとドライバーの各組み合わせに対し、**[編集]** アイコンをクリックし、ドライバーのインストールオプションを設定するダイアログボックスを開きます。必要に応じて、設定可能なオプションを変更できます。
- 11 設定を確認します。**[インストール]** ボタンを有効にするために、プリントデバイス、ドライバー、またはユーティリティーを最低 1 つ選択する必要があります。設定が正しいことを確認して、**[インストール]** をクリックします。
- 12 インストール中、矢印をクリックすると、インストールの詳細を展開または折りたたむことができます。インストールが正常に終了すると、**[完了]** ページで、次のオプションを選択できます。プリンター ドライバーのインストール後にのみオプションが表示されます。
[テストページを印刷]
このチェックボックスを選択し、プリントデバイスの接続と動作をテストします。正常にインストールされている場合、コンピューター名とプリンター ドライバーの情報、およびポート設定が含まれた **[Windows プリンターテストページ]** が、新たにインストールされたプリントデバイスで印刷されます。
[デバイス設定]

チェックボックスをオンにすると、プリントデバイスに装着されたオプションを選択する **[デバイス設定]** が開きます。（**[デバイス設定]** チェックボックスは、ネットワーク接続の Windows XP でのみ表示されます。）

[イベントの通知を有効にする]

[ステータスモニター通知] ダイアログボックスで、イベントの通知を有効にするチェックボックスを選択します。**[拡張機能]** タブの **[ステータスモニター]** をクリックすると、**[ステータスモニター通知]** ダイアログボックスが表示されます。

[簡単設定タブを表示する]

[簡単設定] タブは、よく使用する印刷設定をプロファイルとしてグループに定義しておき、印刷時に簡単に呼び出して使用することを可能にします。**[簡単設定タブを表示する]** オプションは、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** でも表示されます。

プラス (+) アイコンをクリックし、オプションのリストを展開します。

[初期画面を簡単設定タブにする] オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **[簡単設定]** タブとなります。

[初期画面を基本設定タブにする] オプションを使用すると、ドライバーを開いた際に最初に表示されるタブが **[基本設定]** タブとなります。

[簡単設定タブ以外を隠す] オプションを使用すると、ドライバーのタブが **[簡単設定]** タブのみとなります。

13 インストーラーを終了するには、**[完了]** をクリックします。

ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。**[完了]** をクリック後、再度インストールしてください。同じメッセージが再表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。

以上で、プリントデバイスのインストールが完了しました。必要に応じて、コンピュータを再起動してください。

ユーティリティーのみのインストール

- 1** お使いのプリントデバイスとコンピュータの電源が入っていて、USB、パラレル、またはネットワークケーブルで接続されていることを確認してください。
- 2** **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 3** **[ユーティリティー]** リストからユーティリティーを選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストにユーティリティーを移動します。より新しいバージョンのユーティリティーがインストールされている場合、ユーティリティーはリスト内で無効になり、新しいバージョンがすでにインストールされていることを知らせるメッセージが表示されます。
- 4** **[インストールするプロダクト]** リストから製品を削除する場合、製品を選択し、リストボックスの下部にある **[削除]** をクリックします。製品をすべて削除する場合は、**[すべて削除]** をクリックします。
- 5** 設定を確認します。**[インストール]** ボタンを有効にするために、ユーティリティーを最低 1 つ選択する必要があります。設定が正しいことを確認して、**[インストール]** をクリックします。

- 6 インストーラーを終了するには、**[完了]**をクリックします。
ソフトウェアのインストールに失敗すると、メッセージが表示されます。**[完了]**をクリック後、再度インストールしてください。同じメッセージが再び表示された場合は、システム管理者にお問い合わせください。
以上で、ユーティリティーのインストールが完了しました。必要に応じて、コンピュータを再起動してください。

ドライバーのプロパティの編集

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
 - 2 **[デバイス]** リストからデバイスを選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。
 - 3 **[ドライバー]** リストからドライバーを選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストに移動します。
 - 4 **[インストールするプロダクト]** リストの中で、デバイス用の鉛筆の形をした**[編集]**アイコンをクリックします。
 - 5 **[デバイス]** ダイアログボックスが開き、モデル名と IP アドレスまたは USB が表示されます。設定するドライバーのタブを選択します。ドライバーが複数ある場合、各ドライバーの設定はタブに分かれています。割り当てられているドライバーがある場合、次のドライバー設定が表示されます。
 - [プリンター名]**
デバイスのプリンター名を入力します（最大 63 文字）。
 - [プリンターの共有]**
このプリントデバイスを他と共有する場合にこのオプションを選択します。選択されている場合、プリントデバイスの**[共有名]**を入力できます（最大 63 文字）。
 - [通常使うプリントシステムに設定]**
ほとんどまたはすべての印刷ジョブをこのプリントデバイスに送信する場合にこのオプションを選択します。
- [デバイス]** ダイアログボックスから**[削除]**をクリックして、ドライバーを削除できます。

- 6 **[OK]** をクリックします。

ユーティリティーのプロパティ編集

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[カスタムインストール]** をクリックします。
- 2 **[ユーティリティー]** リストから**[NETWORK PRINT MONITOR]** を選択し、矢印をクリックして、**[インストールするプロダクト]** リストにユーティリティーを移動します。
- 3 **[インストールするプロダクト]** リストの中の、**[NETWORK PRINT MONITOR]** ユーティリティー用の鉛筆の形をした**[編集]**アイコンをクリックします。

- 4 ダイアログボックスが開き、ユーティリティーのオプションを表示します。任意の項目を選択します。

[NETWORK PRINT MONITOR]

[デバイス管理]

デバイスを検出し、デバイス設定を管理します。

[部門管理]

デバイスグループの部門を設定し、部門設定を管理します。

[ホスト管理]

プリンタードライバーおよび印刷キューを管理します。

- 5 **[OK]** をクリックします。

アップグレード

ドライバーまたはユーティリティーコンポーネントを選択して、最新バージョンにアップグレードできます。インストーラーは、**[アップグレードするプロダクト]** リストに表示する古いドライバーまたはユーティリティーコンポーネントを検出します。アップグレードが可能な場合、インストーラーの起動時にリストが表示されます。

クライアント/サーバー環境では、古いドライバーをアップグレードできません。詳しくは、プリントシステムの販売店にお問い合わせください。

ドライバーコンポーネントのアップグレード

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[アップグレード]** をクリックします。
- 2 **[アップグレードするプロダクト]** リストから、PC 上でアップグレードするドライバーとユーティリティーを選択します。
- 3 **[アップグレード]** ボタンをクリックして、アップグレードを開始します。
- 4 **[完了]** ダイアログボックスで、**[完了]** をクリックします。

メンテナンス

[メンテナンス] では、便利な機能を提供するユーティリティーにアクセスできます。利用可能なユーティリティーを選択して、実行します。

[オプションプリンターコンポーネント]

このオプションにより、共通プロファイルとプラグインモジュールを使用して、プリンタードライバーの機能を拡張できます。

[Quick Network Setup]

このオプションは、ウィザードを使用して、最も一般的なネットワーク設定を構成します。

[Maintenance Menu]

印刷の位置などの機能を調整できます。

プリンターの追加コンポーネント

追加コンポーネントをインストールすることにより、プリンタードライバーの機能を拡張することができます。

および **[共通プロファイル]** をインストールすることもできます。

オプションプリンターコンポーネントのインストール

- 1 **[メンテナンス]** をクリックします。
- 2 **[オプションプリンターコンポーネント]** を選択し、**[実行]** をクリックします。
- 3 **[プリンターの選択]** ページで、1つ以上のプリントデバイスを選択して、**[次へ]** をクリックします。どのページにおいても、設定を訂正する場合は、**[戻る]** をクリックします。
- 4 **[コンポーネントの選択]** ページで、プラス (+) アイコンをクリックし、オプションを展開します。各オプションをクリックして、より詳細なダイアログボックスを開きます。
- 5 各プリントデバイスのモデルの下で、あらかじめ定義された印刷設定の共通プロファイルを1つ以上選択できます。
- 6 各プリントデバイスのモデルの下で、プラグインモジュールを1つ以上選択できます。
[PDF 作成]
さまざまなデータを、Adobe PDF 形式で印刷および保存できるオプションです。
[セキュリティ・ウォーターマーク]
ほとんど目で見ることのできない画像やテキストを、背景に印刷するオプションです。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷したページをコピーした場合にのみ表示されます。
- 7 設定が正しければ、**[インストール]** をクリックします。
- 8 **[プリンターコンポーネントのインストールが完了しました。]** ページが開きます。**[終了]** をクリックします。
プリンターと追加コンポーネントのインストールが完了した後、PC の再起動の指示が表示された場合は、PC を再起動してください。

ドキュメント

[ドキュメント] で、ドライバー、ユーティリティー、およびプリントシステム操作手順に関するドキュメントにアクセスできます。利用可能なファイルを選択して開きます。PDF ファイルの閲覧には、Acrobat Reader 8.0 以降のバージョンが必要です。

アンインストール

アンインストーラーは、ローカルドライブのプリントシステムドライバーを検出します。**[アンインストール]** ウィンドウでそれらのコンポーネントのリスト

を作成します。ドライバをアンインストールした場合、そのドライバを使用しているデバイスもまた削除されます。

ドライバコンポーネントのアンインストール

- 1 **[Product Library]** ウィンドウで、**[アンインストール]** をクリックします。
- 2 リストからアンインストールするコンポーネントを選択します。デバイスを
選択するかプラス (+) をクリックして、個々のデバイスリストを展開しま
す。リスト下部のアイコンをクリックすることで、すべてのチェックボック
スの選択/選択解除ができます。
- 3 アンインストールを開始するには、**[アンインストール]** ボタンをクリックしま
す。
- 4 **[完了]** ダイアログボックスで、**[完了]** をクリックします。

プリンタードライバの設定について

プリンタードライバの設定は、アプリケーションの **[印刷]** ダイアログボッ
クスまたは **[コントロールパネル]** から行えます。アプリケーションから行っ
た設定は、そのアプリケーションが終了するまで有効です。 **[コントロールパ
ネル]** から設定を行うと、デフォルト設定としてすべてのアプリケーションに
適用されます。

デフォルトのドライバ設定の変更

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **[スタート]** を
右クリック > **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** をク
リックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]** > **[デバイス
とプリンターの表示]** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2 : **[スタート]** > **[デバイスとプ
リンター]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]** > **[コントロールパ
ネル]** > **[プリンター]** をクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **[スタート]** > **[プリンターと
FAX]** をクリックします。
- 2 目的のプリントシステムのアイコンを右クリックし、**[印刷設定]** をクリックし
ます。
- 3 **[印刷設定]** ダイアログボックスにて、各タブで設定したい項目を変更します。
- 4 **[OK]** をクリックします。

2 ドライバーの概要

[印刷設定] ダイアログボックスの下側にあるオーバービューや設定リストには、ドライバーで設定されている内容が表示されます。ドライバーの設定を行うと、オーバービューイメージと設定リストに反映されます。ドライバー設定を選択した後、**[印刷プレビュー]**を選択して印刷ジョブを確認することができます。

コンピュータの縦方向の画面解像度が 864 ピクセル以下の場合、**[印刷設定]** ダイアログボックスの下側は表示されません。この場合、現在の PDL を示すボタンは、ダイアログボックスの左下に、**[印刷プレビュー]** チェックボックスは右下に表示されます。



オーバービューイメージ

[印刷設定] ダイアログボックスの下側に、オーバービューイメージが表示されます。イメージは、ドライバーの設定によって表示が変わります。ドライ

バー設定が選択されるとイメージは自動的に変わり、左側のタブをクリックすると別のイメージに変更することもできます。

プリントシステムのイメージには、接続されているほとんどのデバイスが表示されます。[給紙元]や[排紙先]として選択されているデバイスが緑で強調表示されます。[ジョブ保存]タブでジョブ保留オプションを選択している場合、ハードディスクアイコンが表示されます。

ページイメージは、[簡単設定]タブ、[基本設定]タブ、[レイアウト]タブでのページ設定にしたがって更新されます。

イメージは、グレースケールを設定を表示します。

現在のページ記述言語 (PDL) は、すべてのイメージに表示されます。[印刷設定]のすべてのタブから PDL を一時的に変更し、ドライバーの機能を有効にできます。

印刷設定で PDL を選択する

- 1 オーバービューイメージの部分にある **[PDL]** をクリックします。
- 2 **[PDL (ページ記述言語)]** ダイアログボックスの **[言語の選択]** リストから、ページ記述言語を選択します。

[PCL XL] を選んだ場合は、[スマート両面印刷]、[白紙を印刷しない]、および [印字領域互換] を選択できます。

[KPDL] を選択すると、[スマート両面印刷]、[白紙を印刷しない]、または [パススルーモード] を選択できます。[パススルーモード] を選択すると、[拡張機能] タブの **[EMF スプールを行う]** は使用できません。アプリケーションの **[印刷]** ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合は、[パススルーモード] の設定は変更できません。

[PDF] を選択すると、**[PDF 詳細設定]** をクリックして、**[PDF 詳細設定]** ダイアログボックスを開くことができます。

XPS ドライバーをインストールした場合は、**[XPS 設定]** をクリックして、**[XPS 設定]** ダイアログボックスを開くことができます。
- 3 **[GDI 互換モード]** を選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できる場合があります。
- 4 **[OK]** をクリックします。

設定リスト

各タブの画面下側にある設定リストには、ドライバーの機能（一部機能を除く）の現在の設定が表示されます。スクロールダウンすると、すべてのドライバータブの機能を確認できます。各オプションが選択されると、現在選択されているオプションが設定リストに表示されます。マイナス (-) またはプラス (+) をクリックして詳細の表示/非表示を切り替えられます。

印刷プレビュー

各タブの画面下側に、**[印刷プレビュー]** チェックボックスが表示されます。ドライバー設定を選択した後、**[印刷プレビュー]** を選択して印刷ジョブを確認することができます。プレビューには、テキストとイメージのほか、設定によっては **[ウォーターマーク]** または **[セキュリティウォーターマーク]** が表示されます。プレビューで問題がないことを確認して印刷を行います。設定を変更して印刷したい場合には、キャンセルすることができます。

印刷ジョブをプレビュー

- 1 各タブでドライバーの設定をするか、プロファイルを選択します。
- 2 任意のタブで **[印刷プレビュー]** を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 4 **[印刷プレビュー]** ダイアログボックスが表示されたら、必要に応じて次の操作を行います。
 - 矢印ボタンをクリックして、文書のページを確認します。
 - 虫眼鏡アイコンをクリックして、拡大または縮小表示にします。
 - プレビューを閉じて印刷前にドライバー設定を変更する場合は、**[X]** ボタンをクリックします。
 - プレビューに問題がなければ、プリンターボタンをクリックし、ジョブを印刷します。

バージョン情報

[バージョン情報] は、**[デバイス設定]** および **[印刷設定]** ダイアログボックスの下部に表示されます。**[バージョン情報]** をクリックすると、ドライバーのバージョンとドライバープラグインの情報を表示した **[バージョン情報]** ダイアログボックスが開きます。

バージョン情報の表示

- 1 **[デバイス設定]** または **[印刷設定]** ダイアログボックスで、**[バージョン情報]** > **[詳細バージョン]** をクリックすると、次のドライバー情報が表示されます。
 - [ファイル名]**
 - [詳細バージョン]**
 - [説明]**
 - [日付]**
 - [製造元]**
 - [コメント]**
- 2 著作権情報を表示するには、**[使用条件]** をクリックします。
- 3 **[OK]** をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

プラグイン情報の表示

- 1 **[デバイス設定]** または **[印刷設定]** ダイアログボックスで、**[バージョン情報]** > **[プラグイン]** をクリックすると、次のプラグイン情報が表示されます。
 - [モジュール]**
 - [説明]**
 - [詳細バージョン]**
- 2 **[OK]** をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

3 デバイス設定

【デバイス設定】では、インストールされているプリントシステムのオプションを選択し、プリンタードライバーで関連機能を利用できるようにします。さらに、ドライバーのメモリー設定を、プリントシステムにインストールされているメモリーと合わせることによって、ドライバーはフォントのダウンロードをより効率的に管理できます。また、管理者、ユーザー、PDL (ページ記述言語)、互換性の各設定が可能です。

デバイス設定へのアクセス

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **【スタート】**を右クリック > **【コントロールパネル】** > **【デバイスとプリンターの表示】**をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **【コントロールパネル】** > **【デバイスとプリンターの表示】**を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **【スタート】** > **【デバイスとプリンター】**をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **【スタート】** > **【コントロールパネル】** > **【プリンター】**をクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **【スタート】** > **【プリンターとFAX】**をクリックします。

- 2 目的のプリントシステムのアイコンを右クリックします。

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、および Windows Server 2008 R2: **【プリンターのプロパティ】**をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、および Windows Server 2003: **【プロパティ】**をクリックします。

- 3 **【デバイス設定】**をクリックします。

デバイスオプション

オプション機器の追加を行うと、給紙元やジョブ拡張機能など、プリントシステムの機能を拡張できます。

【ジョブ保存】 タブの **【ユーザーボックス】** 機能を使用するには、まず **【デバイス設定】** タブでユーザーボックスを作成します。印刷ジョブを保存するため最大1000個のユーザーボックスを作成し、印刷ジョブを保存できます。ユーザーボックスは、後でプリントシステムの操作パネルからジョブを印刷できるユーザーに割り当てることができます。また、ストレージデバイスをプリントシステムにインストールすることが必要です。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

使用できるオプションの設定

1 **[デバイス設定]** > **[使用できるオプション]** で、インストールされているすべてのオプションのチェックボックスをオンにします。

2 **[OK]** をクリックします。

ユーザーボックスの設定

1 **[デバイス設定]** > **[使用できるオプション]** で、**[SSD]** を選択します。すでに選択してある場合は、青色の文字をダブルクリックします。必要に応じて、**[RAMディスク]** のチェックボックスをオフにします。

2 **[SSD 設定]** ダイアログボックスで、**[追加]** をクリックします。

3 **[定義されたユーザーボックス]** リストに、新しい **[ボックス番号]** と **[ボックス名称]** が表示されます。必要に応じて、**[ボックス番号]** および **[ボックス名称]** のテキストボックスで、ボックス番号とボックス名称を変更します。番号は 1 から 1000 までの整数、名前は最大 32 文字以内である必要があります。また、ユーザー名は 20 文字以内で入力してください。

4 **[共有ボックス]** をオンにすると、複数のユーザーでボックスを共有できます。チェックボックスがオンの場合、すべてのネットワークユーザーが、ボックスにジョブを保存できます。

チェックボックスがオフの場合、ボックスの所有者およびネットワーク管理者だけが、ボックスにジョブを保存できます。

5 印刷を開始する前にユーザーに共有ボックスのパスワードを入力するよう要求するには、**[パスワードの確認]** を選択し、最大 16 文字のパスワードを入力します。

6 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

印刷中は **[ユーザーボックス]** ダイアログボックスに新しいユーザーボックスが表示されます。

ユーザーボックスを削除するには、**[定義されたユーザーボックス]** リストからボックスを選択して、**[削除]** をクリックします。

ユーザーボックスリストをインポートするには、**[インポート]** をクリックして有効なユーザーボックスリストファイル (.CSV または .KXU) を選択します。

[エクスポート] をクリックすると、PC またはネットワーク内の現在のユーザーボックスリスト (.CSV または .KXU) を保存できます。保存されたリストは他のプリンタードライバーにインポートできます。

自動設定

[自動設定] は、ネットワークで接続しているプリントデバイスに装着されているデバイスを検出します。**[自動設定]** は入力デバイス、ストレージデバイス、メモリー、RAMディスクの容量を検出します。コンピューターが TCP/IP または WSD ポート経由で直接プリントデバイスに接続されている場合、**[自動設定]** ボタンが **[デバイス設定]** に表示されます。**[自動設定]** は、**[使用できるオプション]** のリストや、**[メモリー]**、**[RAM ディスクサイズ]**、オーバー

ビューイメージを更新して、プリントシステムとプリンタードライバーの設定を自動的に一致させます。【自動設定】は OS ごとに動作が異なります。

【自動設定】を使用しても、装着されているすべてのデバイスが検出されるわけではありません。設定内容が正しいことを確認してから、【デバイス設定】で【OK】をクリックします。

参考: Windows XP Service Pack 2 では、Windows のファイアウォールはデフォルトで【オン】に設定されています。プリントデバイスと PC 間の通信を許可するように、設定を変更することもできます。Windows の【セキュリティの警告】ダイアログボックスで、【禁止の解除】をクリックします。

サイレント自動設定

【サイレント自動設定】機能を選択すると、ドライバーは 10 分おきにプリントデバイスをチェックし、追加デバイスやメモリーに変更がないかを確認します。変更が検出されると、ドライバーは自動的に新しい設定に更新されます。【サイレント自動設定】は、Windows Vista 以降の OS にインストールされているプリンタードライバーのみで使用できます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

自動設定の有効化

- 1 各オプションデバイスがプリントシステムに接続され、プリントシステムの電源がオンになっており、印刷待機中であることを確認してください。

- 2 【デバイス設定】で、【自動設定】をクリックします。

Windows XP では、ドライバーの設定がただちに更新されます。

Windows Vista 以降では、【自動設定】ダイアログボックスが開きます。自動設定オプションから選択します。

【自動設定の開始】

ボタンをクリックして、いつでもプリントシステムの現在の設定を取得できます。【サイレント自動設定】がオフになっているときに、実行することをお勧めします。

【サイレント自動設定】

ドライバーがプリントシステムへの変更を指定時間ごとに確認するように設定する際に選択します。ドライバーはオプションデバイスやメモリーの変更を定期的に確認します。

- 3 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。

メモリー

メモリーは、プリントシステムに搭載された標準メモリーとオプションメモリーの合計容量です。プリントシステムフォントのダウンロード速度を最大にするために、ドライバーの設定はプリントシステムのメモリーと一致するように設定します。デフォルトでは、【メモリー】設定はプリントシステムの標準メモリーと一致するようになっています。オプションメモリーを搭載した場合は、プリンタードライバーのメモリー設定がデバイスのメモリー容量と同じになるように設定してください。

メモリーの設定

- 1 プリントシステムに追加の DIMM メモリーを装着します。

- 2 **[デバイス設定]>[メモリー]**で、装着した全メモリーの容量を入力または選択します。

[自動設定]機能が付いている場合には、そこからメモリー情報を取得することができます。

RAM ディスク

RAM ディスクは、仮想ストレージデバイスとして機能し、印刷要求をプリントシステムのメモリーに保存します。RAM ディスクは一時メモリーであるため、そこに保存されたデータはすべて、電源を切ると消失します。RAM ディスクサイズの設定は、操作パネルの設定と一致する必要があります。RAM ディスクの最大サイズは、搭載されているメモリーの容量によって異なります。

選択すると、**[互換性設定]**ダイアログボックスの**[ドライバーの部単位設定を優先する]**機能により、ドライバーのページ設定が使用されます。そのため、RAM ディスクは、印刷ジョブを1回送信するだけで、部単位で複数の印刷を行う場合に速度を上げることが可能です。

参考: ストレージデバイスが搭載されている場合は、RAM ディスクの機能は無効となります。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントは、この機能を使用できません。

RAM ディスクの設定

- 1 プリントシステムの操作パネルで、RAM ディスクをオンにして、サイズを設定します。
- 2 **[デバイス設定]>[使用できるオプション]**で、**[RAM ディスク]**を選択します。
- 3 **[RAM ディスクサイズ]**に、設定したいRAM ディスクのサイズを入力または選択します。

管理者設定

[管理者設定]では、アクセスするユーザーや部門の制御、ドライバーの表示タブの設定、および**[管理者設定]**へのアクセスを制御するためのパスワード設定などを行います。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

一般

管理者は、**[一般]**タブで、**[簡単設定]**タブの表示を制御できます。いくつかの**[SNMP]**設定や、ジョブのEメール通知、その他各種設定も選択できます。

簡単設定タブを表示する

このオプションでは、**[簡単設定]**タブを表示するかを選択できます。よく使う印刷時の設定をあらかじめ定義しておき、アクセシビリティを改善することができます。

【簡単設定タブを表示する】チェックボックスをオフにすると、**【印刷設定】**ダイアログボックスにタブは表示されません。

この機能を有効にするには**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で、**【簡単設定タブを表示する】**をクリックします。

【簡単設定タブを表示する】チェックボックスをオンにすると、**【印刷設定】**ダイアログボックスにタブが表示されます。**【簡単設定タブを表示する】**チェックボックスを選択する際に、追加のチェックボックスにアクセスできます。

【簡単設定タブ以外を隠す】を選択すると、**【簡単設定】**タブのみがユーザーに表示されます。

【初期画面を簡単設定タブにする】を選択すると、**【印刷設定】**画面を開いたときの初期画面になります。

【編集/追加ボタンを隠す】を選択すると、ユーザーが**【簡単設定】**タブをカスタマイズできなくなります。

カウント情報

印刷ジョブにカウント情報を埋め込み、この機能に対応しているアプリケーションで部門管理のために使用できます。カウント情報には、印刷ページ数、両面印刷、ページ集約、カラーモード、カラーページカウント、用紙サイズなどが含まれます。

【PDF】がPDLとして選択されている場合、またはXPSドライバーの場合は、カラーページカウント情報のみが印刷ジョブに埋め込まれます。

この機能を有効にするには、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で、**【カウント情報】**をクリックします。

アプリケーション名を発行

このオプションでは、異なる印刷プロセスを各アプリケーションで使用できるよう、印刷ジョブにアプリケーション名を付加して送信することができます。

このオプションは、**【PDF】**がPDLとして選択されている場合は使用できません。

この機能を有効にするには、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で、**【アプリケーション名を発行】**をクリックします。

アプリケーション別の印刷設定を有効にする

印刷設定プロファイルを、異なるアプリケーションごとに有効にします。この機能を使用する前に以下を行ってください。

【印刷設定】からアクセスする**【プロファイル】**ダイアログボックスで、プロファイルを追加します。

同じく**【プロファイル】**ダイアログボックスで、プロファイルを選び、**【アプリケーション別の印刷設定】**ダイアログボックスでアプリケーションを追加して有効にします。

デフォルトでは、この機能は有効です。この機能を無効にするには、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で、**【アプリケーション別の印刷設定を有効にする】**のチェックボックスを外します。

パスワードで管理者設定を保護する

【管理者設定】ダイアログボックスで**【設定を保護する】**をオンにし、このダイアログボックスに対して不正な変更が行われるのを防ぎます。この設定を選択すると、パスワードの入力および確認のための再入力を求められます。このパスワード保護により、すべての**【管理者設定】**オプションへのアクセスがブロックされます。

管理者パスワードの設定

- 1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[一般]** で **[設定を保護する]** を選択します。
- 2 **[パスワード設定]** ダイアログボックスで、4～16文字のパスワードを入力します。**[新しいパスワードの確認]** にパスワードを再入力して、**[OK]** をクリックします。

管理者パスワードのクリア

- 1 **[デバイス設定]** で、**[管理者設定]** をクリックします。
- 2 **[パスワード設定]** ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。
- 3 **[管理者設定]** ダイアログボックスで、**[設定を保護する]** チェックボックスのチェックを外し、**[OK]** をクリックします。

初期設定プロファイルを隠す

[簡単設定] タブと **[プロファイル]** ダイアログボックスから **[初期設定]** プロファイルを隠すことができます。

チェックボックスをオンにすると **[初期設定]** プロファイルがリストに表示されません。

チェックボックスをオフにすると **[初期設定]** プロファイルがリストに表示されます。

SNMP 設定

簡易ネットワーク管理プロトコル (**[SNMP]**) は、デバイスエージェントの管理およびネットワーク管理システムを制御する、アプリケーションレイヤーのプロトコルです。プリントシステムなどの管理対象デバイスは、ネットワーク管理システム用の管理情報を収集して格納します。**[SNMP]** のセキュリティレベルは、**[SNMP 設定]** ダイアログボックスの設定により指定されます。**[SNMPv3]** では、暗号化と認証がサポートされます。**[SNMP]** 設定は、プリンタードライバーおよびプリントシステムのホームページで設定する必要があります。

使用可能な **[SNMP]** オプションは、次のとおりです。

[SNMPv1/v2c]

[リードコミュニティ名] と **[ライトコミュニティ名]** を使用して管理対象デバイスと通信します。

[SNMPv3]

認証と暗号化のセキュリティ拡張機能には、ユーザー名とパスワードが必要です。**[設定]** をクリックすると、認証オプションやプライバシーオプションが利用できるようになります。

[設定を他の機種に反映]

このオプションを使用すると、設置したプリントシステムのリストが表示され、選択した **[SNMP]** 設定を適用することができます。

SNMPv3オプション

[SNMPv3] オプションを選択すると、プリントシステムとの接続に信頼性を高めることができます。

【認証】

転送されたファイルが完全な状態で到達し受信されたかどうかを、チェックするアルゴリズムを実行します。 **Message Digest 5 (【MD5】)** および **Secure Hash Algorithm 1 (【SHA1】)** は、パケットデータの認証に用いられるアルゴリズムです。

【MD5】

このオプションは、128 ビットのハッシュ値を生成する暗号化用ハッシュ関数を実行します。

【SHA1】

160ビット長のメッセージダイジェストを生成します。 **【SHA1】** は、 **【MD5】** の後継アルゴリズムです。

【暗号通信】

接続の信頼性を高めるために暗号化が使用されます。このオプションは、 **【認証】** オプションを選択すると選択できるようになります。次の **【暗号通信】** オプションから1つ選択してください。

【DES】

暗号化技術として **Data Encryption Standard** が使用されます。 **【DES】** は、暗号化アルゴリズムを使用して平文を暗号文に変換します。暗号化と復号化には、8バイト長のブロックと56ビット長の鍵が使用されます。

【AES】

暗号化技術として **Advanced Encryption Standard** が使用されます。 **【AES】** は、対称的に構成されたブロックによる暗号文で、128、192、256ビット長の暗号鍵を使用して128ビットのデータブロックを処理することができます。この方法は、 **【DES】** よりも安全性が高くなります。

SNMP 設定の選択

- 1 **【デバイス設定】** > **【管理者設定】** > **【一般】** で **【SNMP設定】** をクリックします。
- 2 **【SNMPv1/v2c】** または **【SNMPv3】** を選択します。
【SNMPv1/v2c】 の場合は、 **【リードコミュニティ名】** と **【ライトコミュニティ名】** を最大 32 文字で入力します。
【SNMPv3】 の場合は、 **【ユーザー名】** を最大 32 文字で入力して、 **【パスワード】** を 8 ～ 32 文字で入力します。
- 3 **【SNMPv3】** に認証とプライバシーオプションを設定するには、 **【設定】** をクリックします。
- 4 **【SNMPv3 設定】** ダイアログボックスで、使用可能なオプションを選択し、 **【OK】** をクリックします。
- 5 オプション: **【設定を他の機種に反映】** から、設定を反映させるモデルを選択できます。 **【SNMP】** の設定が、選択したすべてのモデルに適用されます。
- 6 **【OK】** をクリックします。

ジョブの E メール通知

この機能は、印刷ジョブと同時に E メールアドレスを送信します。ジョブの印刷が終了すると、送信されたアドレスに、デバイスから E メールが送信され

ます。デバイスが複数のジョブを印刷していて、印刷が終了まで時間がかかる場合に便利です。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**【デバイス設定】**の**【管理者設定】**ボタンが、**【認証】**ボタンになります。Eメール通知のデータは、**【認証設定】**ダイアログボックスで入力できます。

Eメール通知オプションを選択

- 1 **【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で、**【印刷完了通知】**を選択します。
- 2 Eメールアドレスのオプションを選択します。

【特定のEメールアドレスを使用】を選択し、有効なEメールアドレスを入力します。クライアント/サーバー環境では、クライアントユーザーによるアドレス変更が可能です。

【印刷時にEメールアドレスを入力】を選択し、**【OK】**をクリックします。印刷の際に、**【印刷】**ダイアログボックスで**【OK】**をクリックし、**【印刷オプション】**または**【認証設定】**ダイアログボックスで有効なEメールアドレスを入力し、**【OK】**をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。

ロック設定

管理者は、ドライバーの各タブの設定や機能レベルを指定し、それらをロックすることができます。ロックされた設定は、すべての印刷ジョブに適用され、変更が制限されます。ロック設定は、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】**で行います。例えば、印刷は両面で行うようにドライバーを設定しておくことができます。用紙が節約されるため、経費の削減および環境保護につながります。

設定をロックすると、他のタブで表示される同じ機能もロックされます。例えば、**【両面印刷】**を選択すると、**【簡単設定】**および**【基本設定】**タブでもその機能がロックされます。

また管理者は、一時的に機能のロックを解除するためのパスワードを設定することもできます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を利用できません。

ロック設定のオプション

【ロック設定】タブには、管理者がロックできるドライバー設定が表示されます。ロックすると、ユーザーの変更は制限され、設定はすべての印刷ジョブに適用されます。設定が有効になると、**【パスワードの設定】**オプションにアクセスできます。これにより、管理者は用紙やトナー量の使用を制御できます。

【エコプリント】

【簡単設定】、**【基本設定】**、または**【印刷品質】**タブで選択されている**【エコプリント】**設定をロックします。

【両面印刷】

【簡単設定】または**【基本設定】**タブで選択されている**【両面印刷】**設定をロックします。

【ページ集約】

[簡単設定] タブの現在の **[ページ集約]** 設定、および **[レイアウト]** タブの **[ページ集約]** 設定がロックされます。**[レイアウト]** タブでは、**[ページ集約]** オプションはロックされていません。

[アプリケーション別の印刷設定]

アプリケーションごとに定義されている、ドライバー設定のプロファイルをロックします。

[ジョブ保存タブ]

[ジョブ保存] タブで選択された設定がロックされます。

[セキュリティー・ウォーターマーク]

[拡張機能] タブの **[セキュリティー・ウォーターマーク]** 設定をロックします。**[セキュリティー・ウォーターマーク]** は、オプションのプラグインです。

[ウォーターマーク]

[拡張機能] タブの **[ウォーターマーク]** 設定をロックします。

[パスワードの設定]

管理者が設定したパスワードを使用して、選択したドライバー機能をロックできます。管理者がパスワードを設定している場合、ドライバーのタブ、または **[アプリケーション別の印刷設定]** ダイアログボックスに、**[ロック解除]** アイコンが表示されます。ロックを解除するには、**[ロック解除]** をクリックし、パスワードを入力します。

ドライバー設定のロック

1 **[デバイス設定]** > **[管理者設定]** で **[ロック設定]** をクリックします。

2 ロックする各ドライバー機能のチェックボックスを選択します。

3 一時的に設定をアンロックするためにパスワードを設定する場合は、**[パスワードの設定]** のチェックボックスを選択します。

[パスワードの設定] ダイアログボックスで、4～16 文字のパスワードを入力します。**[新しいパスワードの確認]** にもう一度パスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。

パスワードを削除するには、**[パスワードの設定]** チェックボックスのチェックを外します。**[パスワードの解除]** ダイアログボックスで、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。

4 **[ロック設定]** の内容を保存するには、**[OK]** をクリックします。

パスワードが設定されている場合は、ロックされている機能が表示されているドライバータブに、**[ロック解除]** アイコンが表示されます。機能のロックを解除し一時的に設定を変更するには、**[ロック解除]** をクリックし、パスワードを入力します。

ユーザー管理

[ユーザー管理] は、部署や部門ごとに権限を割り当てる **[部門管理]** とは異なり、ユーザーごとにジョブ制限を提供します。プリントデバイスには最大100個のログインユーザー名とパスワードを登録することができ、プリンタードライバーに保存されます。

ユーザーはユーザー名とパスワードによって認識されます。ユーザー名は、UPN 形式 (username@domain.com) で入力する必要があります。この機能

は、印刷および課金を安全に行うため、指定されたユーザーのみが印刷を行います。各ユーザーが印刷したページ数は、プリントシステムによって管理されます。

また、プリンタードライバーに追加されたユーザーをプリントシステムの操作パネルに手動で登録する必要があります。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、**[デバイス設定]**の**[管理者設定]** ボタンが、**[認証設定]** ボタンになります。ユーザーログインのデータは、**[認証設定]** ダイアログボックスで入力できます。

ユーザー管理のオプション

ドライバーで選択した**[ユーザー管理]** の設定は、PC から送信されたすべての印刷ジョブに適用されます。

[特定のログインユーザー名を使用]

このオプションは、特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ**[ユーザー管理]** が使用できます。このオプションが選択されていると、ユーザーは印刷ジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

クライアント PC はクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトのユーザー名とパスワードを使用するか、他の名前とパスワードを入力することができます。**[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

[印刷時にログインユーザー名を入力]

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。リストにはないユーザー名を使用し、リストにユーザー名を追加しないでもできます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。

[印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)]

印刷の際にユーザー名とパスワードの入力を求められます。印刷するジョブに関して、入力されるユーザー名とパスワードは**[登録ログインユーザーリスト]** にある必要があります。ドライバーの**[登録ログインユーザー]** リストに入力されている**[ログインユーザー名]** を使用できます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたらユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]** をクリックして印刷します。このオプションは、選択されたユーザー名がドライバーに保存されていることが確認された場合にのみ、ジョブを印刷します。

[ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認]

このオプションは、Windows **[ユーザー名]** をドライバーの**[登録ログインユーザーリスト]** で検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。Windows **[ユーザー名]** が**[登録ログインユーザーリスト]** に存在する場合、そのリスト内の関連付けられたドライバーの**[ログインユーザー名]** とパスワードを使用してジョブを印刷できます。

一致したユーザー名が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。ユーザー権限のみ持つユーザーは、印刷ジョブはキャンセルされ、管理者に問い合わせて印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、**[ログインユーザー名]** とパスワードの入力を求められます。Windows **[ユーザー名]** とともに、これらをリストに追加しておく、印刷ジョブを続行するためにユーザーが**[ログインユーザー名]** とパスワードを再入力する必要がなくなります。

[登録ログインユーザーリスト]

クリックして、ログインユーザー名とパスワードを追加、削除、編集、インポート、またはエクスポートすることができます。【登録ログインユーザーリスト】を作成すると、このリストをテキストファイル(.CSV、.KXC、.TXT)形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。【登録ログインユーザーリスト】をインポートするには、既存のリストを参照し、それをプリンタードライバーに保存します。

ユーザー管理を使用して印刷

ログインユーザー名が割り当てられ、プリントシステムのユーザーログインモードが【オン】に設定された後、【ユーザー管理】を選択して、ユーザーログインモードで印刷を実行できます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントには自動的にサーバーで設定した【ユーザー管理】の設定が適用されます。

- 1 【デバイス設定】>【管理者設定】>【ユーザー管理】で、【ユーザー管理】を選択します。
- 2 【ユーザー管理】オプションを選択します。
 - 【特定のログインユーザー名を使用】
 - 【印刷時にログインユーザー名を入力】【特定のログインユーザー名を使用】または、【印刷時にログインユーザー名を入力】を選択した場合は手順 5 に進みます。

参考: ログインユーザー名リストを作成すると、上記以外の【ユーザー管理】オプションも選択可能になります。

- 3 【登録ログインユーザーリスト】は、ボタンをクリックして確認や管理ができます。
- 4 以下の【ユーザー管理】オプションから選択します。
 - 【印刷時にログインユーザー名を入力 (ログインユーザーの確認)】
 - 【ユーザー (ホスト) 毎にログインユーザー (デバイス) を確認】
- 5 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。
- 6 アプリケーションから文書を印刷します。
- 7 【印刷オプション】または【認証設定】ダイアログボックスが表示されたらユーザー名とパスワードを入力または選択して、【OK】をクリックします。

部門管理

【部門管理】によって、管理者はプリントシステムの使用を制御することができます。【部門管理】で、ユーザーあるいは部署に部門コード (識別番号) を割り当てられます。特定の部門コードを割り当て、印刷の際に入力を求める設定を行うことができます。部門コードを作成すると、プリントシステムの操作パネルから、特定の部門コードに関連付けられている印刷枚数を確認したり、部門コードごとに印刷枚数を制限したりできるようになります。部門コードは、最大 8 桁まで指定可能です。

参考: プリントシステムで【部門管理】が【オン】に設定されている必要があります。プリントシステムには最大 100 件の部門コードユーザー名とパスワードが登録可能で、プリンタードライバーには 100 件の部門コードとパスワードを保存して、複数のプリントシステムで使用することができます。

クライアント/サーバー環境では、クライアントは一部のオプションを利用できません。

クライアント/サーバー環境の制限されたユーザーの場合、【デバイス設定】の【管理者設定】ボタンが、【認証】ボタンになります。部門管理のデータは、【認証設定】ダイアログボックスで入力できます。

部門管理オプション

【部門管理】では、次の設定が行えます。

【特定のコードを使用】

このオプションでは、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブごとに部門コードが送信されます。管理者は【管理者設定】ダイアログボックスの一般タブで、【設定を保護する】をオンにして、ユーザーあるいはグループが部門コードを変更しないように制限できます。

クライアント PC はクライアント/サーバー環境で、管理者によって設定されたデフォルトの部門コードを使用するか、他の部門コードを入力することができます。【標準に戻す】をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。

【印刷時にコードを入力】

このオプションでは、部門コードを入力するよう求めるだけでなく、部門コードを使用してユーザーまたはグループの印刷ジョブを管理します。印刷ジョブが送信されるとき、ユーザーは部門コード ID を入力するよう求められます。

【部門コード】

リストの部門コードを追加、編集、または削除できます。最大 100 個の部門コードをドライバーに保存できます。部門コードリストを作成すると、このリストをテキストファイル (.CSV、.KXC、.TXT) 形式で保存することにより、まとめてエクスポートすることができます。部門コードリストをインポートするには、既存のリストを参照して開きます。

【印刷時にコードを入力（コードリストの確認）】

このオプションでは、ドライバーに保存された部門コードを指定するよう求められます。印刷ジョブを送信する際、プロンプトが表示されたら部門コードを入力し、【OK】をクリックして印刷します。部門コードは、部門コードリストと照合されます。入力を間違えた場合は、もう一度部門コードを入力するよう求められます。

【印刷時にコードリストから選択】

このオプションでは、印刷時に部門コードリストを表示します。ユーザーまたはグループに印刷ジョブを割り当てることができます。部門コードはドライバーに保存され、リストを表示するには 1 つ以上の部門コードを作成しておく必要があります。

【ユーザー (ホスト) 毎に部門コードを確認】

このオプションは、Windows ユーザー名をドライバーの【部門コード】で検索します。確認は、ユーザーがジョブを印刷する際に行われます。

Windows ユーザー名が【部門コード】に存在する場合は、そのリスト内の関連付けられたドライバーの部門コードを使用してジョブを印刷できます。

一致したユーザー名が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。ユーザー権限のみ持つユーザー

は、印刷ジョブはキャンセルされ、管理者に問い合わせて印刷権限を取得するよう促すメッセージが表示されます。管理者権限を持つユーザーは、ドライバーにより、部門コードの入力を求められます。Windows ユーザー名とともに、これをリストに追加しておく、印刷ジョブを続行するためにユーザーが部門コードを再入力する必要がなくなります。

部門コードを追加または編集

- 1 **【デバイス設定】>【管理者設定】>【部門管理】**から、**【部門管理】**を選択します。
部門コードを作成するには、**【追加】**をクリックします。
既存の部門コードを編集するには、リストからコードを選択し**【編集】**をクリックします。
- 2 **【コード】**で、最大 8 桁の数字を入力します。
- 3 **【説明】**に、ユーザーやグループ名などの部門コードの説明を入力できます。
- 4 **【ユーザー名】**で、Windows ユーザー名を、最大 20 文字で入力します。ユーザー名は大文字と小文字の区別がありません。
- 5 **【追加】(Add)**をクリックして**【ユーザー名 (ホスト)】**リストに名前を追加します。各部門コードに最大 100 個の名前を追加できます。
- 6 名前をリストから削除するには、削除する名前を選択し**【削除】(Delete)**をクリックします。
- 7 **【OK】**をクリックします。

部門管理を使用して印刷

- 1 **【デバイス設定】>【管理者設定】>【部門管理】**から、**【部門管理】**を選択します。
- 2 次の**【部門管理】**オプションを選択します。
【特定のコードを使用】
【印刷時にコードを入力】
【特定のコードを使用】または**【印刷時にコードを入力】**を選択した場合は手順 5 に進みます。

参考: 部門コードをリストに登録すると、上記以外の**【部門管理】**オプションも選択可能になります。

- 3 **【部門コード】**リストは、ボタンをクリックして確認や管理ができます。
- 4 次の**【部門管理】**オプションから選択します。
【印刷時にコードを入力 (コードリストの確認)】
【印刷時にコードリストから選択】
【ユーザー (ホスト) ごとに部門コードを確認】

- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 6 アプリケーションから文書を印刷します。
- 7 一部のオプションでは、**[印刷オプション]** または **[認証設定]** ダイアログボックスが表示されるため、部門コードを入力または選択して、**[OK]** をクリックします。

ユーザー設定

[ユーザー設定] を使用すると、ユーザー名や部署・部門名の指定、デフォルトの単位の選択を行うことができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

ユーザー登録

[ユーザー登録] では、最大 31 文字の **[ユーザー名]** と **[部署・部門名]** を使用して、印刷ジョブを識別できます。**[ユーザー名]** は、ストレージデバイスに保存されている印刷ジョブの識別に使用することができます。

ユーザー登録情報の設定

- 1 **[デバイス設定]** > **[ユーザー設定]** で、**[ユーザー名]** テキストボックスにユーザー名を入力します。
- 2 **[部署・部門名]** テキストボックスに、部署・部門名またはグループ名を入力します。
[ユーザー名] および **[部署・部門名]** テキストボックスには、最大 31 文字まで入力することができます。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

単位

単位には、**[インチ]** または **[ミリ]** のいずれかを設定することができます。これは、次の設定に使用されます。

[基本設定] タブの **[原稿サイズ]** 設定。

[拡張機能] タブの **[ウォーターマークの追加]** および **[ウォーターマークの編集]** ダイアログボックスにある **[間隔]** の設定。

[レイアウト] タブの **[ポスター印刷]** 設定および **[とじしろ設定]** の設定。

単位の選択

- 1 **[デバイス設定]** > **[ユーザー]** で **[インチ]** または **[ミリ]** のいずれかを選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ページ記述言語 (PDL)

[PDL (ページ記述言語)] では、印刷ページのコンテンツおよびレイアウトを指定します。**[デバイス設定]** で、**[PCL XL]** (Printer Command Language XL)、

[PCL 5e]、**[KPDL]** (PostScript 印刷のエミュレーション)、または **[PDF]** (ポータブルドキュメントフォーマット) の中から選択できます。PDL として **[PDF]** を追加するには、**[Output to PDF]** (PDF 作成) プラグインをインストールする必要があります。デフォルトは、一般的に使用されている **[PCL XL]** に設定されています。

PDL を選択すると、**[デバイス設定]** および **[印刷設定]** のすべてのタブにあるオーバービューイメージの下隅に、選択した PDL が表示されます。**[印刷設定]** の任意のタブで PDL を一時的に変更することもできます。

[GDI 互換モード] は、ベクトルグラフィックのラスターライズを行い、ビットマップイメージとして印刷します。**[GDI 互換モード]** を使用すると、アプリケーションで作成したグラフィックを高品質で出力することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

使用するアプリケーションが XML Print Specification をサポートしている場合、XPS ドライバーをインストールした後で XPS 印刷を実行できます。XPS ドライバーの場合、選択可能な PDL は **[XPS]** のみです。

PDL オプション

PDL オプションは、**[デバイス設定]** の **[PDL (ページ記述言語)]** ダイアログボックスで選択できます。

PCL XL

HP PCL と PCL 6 の最新バージョンです。この PDL には、PCL 5e の機能が含まれています。PCL XL には、PCL の旧バージョンとの下位互換性はありませんが、次の点において、PCL 5e の機能よりも強化されています。

- ファイルサイズの圧縮
- 印刷速度の高速化
- アプリケーションに戻る速度の高速化
- [セキュリティ・ウォーターマーク]** に対応
- [細線化]** に対応

PCL 5e

- PCL の旧バージョンとの完全な互換性
- 双方向通信のサポート
- Microsoft Windows のアプリケーションで使用できるフォントの種類の拡大
- 複雑なグラフィックは印刷できない場合があります
- [プロローグ/エピローグ]** で、**[ページのはじめ/ページの終わり]** が使用できます

KPDL

PostScript 2 または 3 がサポートされているアプリケーションから印刷する場合は、KPDL を使用します。

- PostScript 印刷のエミュレーション
- グラフィックの再生機能の強化
- 印刷速度は、PCL 5e よりも遅くなる場合があります
- PCL 5e よりも大きなデバイスメモリー容量が必要です
- ネイティブ TrueType フォントのダウンロードが可能です
- 多彩な **[グラフィック詳細設定]** オプションをサポートしています

[EMF スプールを行う] は、[パススルーモード] が選択されている場合は使用できません

PDF

[Output to PDF] (PDF 作成) は、さまざまなデータ元から文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できるプラグインです。PDF 形式は、文書の作成に使われたオペレーティングシステムや、アプリケーションに依存しません。

PDF 文書作成のため、既存の市販アプリケーションの代用として使用可能な文書のレイアウトを保持

PDF コンテンツを表示できる OS 上で閲覧や印刷が可能

いくつかのドライバー機能は使用不可

PDL 設定

ページ記述言語によっては、[PDL (ページ記述言語)] ダイアログボックスで追加の設定を行うことができます。

PCL XL 詳細設定

[スマート両面印刷]

両面印刷の際に、片面のみの印刷で終わる場合、用紙が両面ユニットを経由しないで印刷を終えるようにします。片面 1 ページのみの文書を印刷する場合、複数ページの文書から 1 ページのみの印刷する場合、複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合は、用紙は両面ユニットを通過しません。このオプションを選択すると、両面ユニットの消耗を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。

[白紙を印刷しない]

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字のみのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能です。この機能はブックレットや両面印刷、ページ集約では使用できません。

[印字領域互換]

[印字領域互換] をチェックすると、印刷領域が他社製製品の印刷領域と異なる際に、近づけることができます。

KPDL 詳細設定

[スマート両面印刷]

両面印刷の際に、片面のみの印刷で終わる場合、用紙が両面ユニットを経由しないで印刷を終えるようにします。片面 1 ページのみの文書を印刷する場合、複数ページの文書から 1 ページのみの印刷する場合、複数ページをページ集約機能で 1 ページに印刷する場合は、用紙は両面ユニットを通過しません。このオプションを選択すると、両面ユニットの消耗を低減でき、印刷時間の短縮にもつながります。

[白紙を印刷しない]

このオプションは、印刷データのないページや、空白 (スペース) 文字のみのページの出力を防ぎます。これにより、用紙の節約と印刷時間の多少の短縮が可能です。この機能はブックレットや両面印刷、ページ集約では使用できません。このオプションが選択されている場合、[パススルーモード] は使用できません。

[パススルーモード]

このオプションは、PostScript 形式のアプリケーションによる複雑なジョブを印刷する際に、エラーを減らすことができます。チェックすると [拡張機能] タブの [EMF スプールを行う] は使用できません。

[PDF 詳細設定]

文書を Adobe PDF フォーマットで印刷および保存するオプションを提供します。詳細については、PDF の項を参照してください。

デバイス設定で PDL を選択する

- 1 **[デバイス設定] > [PDL]** で、**[言語の選択]** リストから、ページ記述言語を選択します。

[PCL XL] を選んだ場合は、**[スマート両面印刷]**、**[白紙を印刷しない]**、および **[印字領域互換]** を選択できます。

[KPDL] を選択すると、**[スマート両面印刷]**、**[白紙を印刷しない]**、および **[パススルーモード]** を選択できます。**[パススルーモード]** を選択すると、**[詳細設定]** タブの **[EMF スプールを行う]** は使用できません。

[PDF] を選択すると、**[PDF 詳細設定]** をクリックして、**[PDF 詳細設定]** ダイアログボックスを開くことができます。

- 2 **[GDI 互換モード]** を選択すると、アプリケーションで作成したグラフィックデータの印刷品質を向上できる場合があります。

- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

PDF

[PDF作成] プラグインは、さまざまなデータ元から文書を Adobe PDF 形式に印刷または保存できます。この機能は、PDF 文書を作成する場合に、既存の商用アプリケーションの代わりとして利用することができます。PDF 形式で保存された文書は、元の文書のレイアウトを保持し、PDF コンテンツを表示できる OS 上で閲覧、印刷ができます。

複数の用紙サイズが混在する文書の場合は、PDF のすべてのページで、最初のページのサイズが使用されます。

参考: PDL として **[PDF]** を選択した場合は、一部のドライバーのオプションのみ利用できます。

PDFオプション

[Output to PDF] (PDF 作成) プラグインがインストールされている場合、PDF オプションを選択できます。

[PDF 詳細設定] ダイアログボックスで、次のオプションが使用できます。

[フォントを埋め込む]

このオプションを使用すると、文書のフォントは PDF ファイルで設定されたとおりに画面に表示されます。このオプションを使用すると、ファイルの見ばえを正確に再現することができますが、ファイルサイズが非常に大きくなります。

[データを圧縮する]

このオプションを使用すると、PDF 文書を圧縮できます。ファイルサイズが大幅に小さくなります。

[印刷と保存 オプション]

リストから、印刷 (**[印刷のみ]**)、PDF ファイルに保存 (**[ファイルに保存]**)、またはその両方 (**[印刷と保存]**) を選択します。保存オプションを選択すると、**[PDF 詳細設定]** ダイアログボックスで追加オプションを選択できます。

[既定のフォルダーに自動保存]

PDF ファイルを自動的に規定のフォルダーに保存します。PDF ファイルを保存する場所を指定します。

[日付と時間]

チェックボックスを選択すると、同じファイル名に、ファイル保存時の日付と時間が追加されます。チェックボックスを非選択にすると、同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルを上書きします。

[暗号化]

暗号化では、PDF ファイルの暗号化のレベルを選択します。暗号化で [なし] 以外を選択すると、パスワードによる保護をかけることができ、許可されていないユーザーが文書を開いたり、変更したりすることを防げます。

[Arc4 40]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以前のバージョンに対応しています。

[Arc4 128]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に低レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 6.0 以降のバージョンに対応します。

[AES 128]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 7.0 以降のバージョンに対応します。

[AES 256]

この暗号化オプションによって、PDF 文書に高レベルのセキュリティをかけることができます。この機能は、Adobe Acrobat および Adobe Reader 9.0 以降のバージョンに対応します。

[パスワード保護]

セキュリティ設定を変更したり、文書を開いたりする場合は、パスワードを選択します。パスワードには、最大 16 文字まで設定できます。

[セキュリティ設定を変更するパスワード]

チェックボックスを選択し、オーナーパスワードを入力します。Adobe Acrobat では、[ファイル] > [プロパティ] > [セキュリティ] タブから、セキュリティ設定を変更する際にこのパスワードが必要となります。このパスワード保護付きの PDF ファイルを Adobe Reader で開いた場合、文書の印刷、編集、内容のコピーなどはできません。

[文書を開くパスワード]

チェックボックスを選択し、ユーザーパスワードを入力します。PDF 文書を開く際は、ユーザーパスワードを入力する必要があります。このパスワードは、オーナーパスワードとは異なるものに設定しなければなりません。

PDF の印刷と保存

- 1 [デバイス設定] > [PDL] で、[言語の選択] リストから [PDF] を選択します。
- 2 [PDF 詳細設定] をクリックします。
- 3 [PDF 詳細設定] ダイアログボックスの、[印刷と保存オプション] で、PDF ファイルを印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。

- 4 手順 3 で保存オプションを選択した場合は、保存先フォルダー、暗号化、パスワードオプションを指定します。
- 5 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 6 文書を開いて印刷します。
- 7 PDF ファイルに名前を付けて、保存します。

XPS ドライバー

Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Server 2008 R2、Windows Vista (最新のプラットフォームアップデートを含む SP2)、および Windows Server 2008 では、XML Paper Specification (**[XPS]**) を使用できます。ページ記述言語は、書類の表示、処理、印刷方法を提供します。PDL と文書形式のどちらとしても、**[XPS]** は、互換性のあるプリントシステム機器と Windows Presentation Foundation (WPF) アーキテクチャー向けに書かれたソフトウェアが必要となります。**[PCL]** および **[KPDL]** は、**[XPS]** 環境と互換性がありません。そのため、**[XPS]** ドライバーは、単一の PDL 設定のみをサポートします。**[XPS]** ドライバーは、**[Product Library ディスク]** からインストールできます。**[インストール方法]** メニューで、**[カスタム モード]** をクリックし、**[カスタムインストール]** ページで **[Printing System (XPS) Driver]** を選択します。

[XPS] ドライバーの使用時には、一部のドライバー機能は使用できません。

XPS オプション

XPS ドライバーを使用している場合、XPS オプションを選択できます。

[XPS 設定] ダイアログボックスで、次のオプションが使用できます。

[印刷と保存 オプション]

リストから、印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。保存オプションを選択すると、**[XPS 設定]** ダイアログボックスで追加オプションを選択できます。

[既定のフォルダーに自動保存]

XPS ファイルを自動的に規定のフォルダーに保存します。XPS ファイルを保存する場所を指定します。

[日付と時間]

チェックボックスを選択すると、同じファイル名に、ファイル保存時の日付と時間が追加されます。チェックボックスを非選択にすると、同名のファイルがすでに存在する場合、そのファイルを上書きします。

XPS の印刷と保存

- 1 **[デバイス 設定] > [PDL]** で、**[XPS 設定]** をクリックします。
- 2 **[XPS 設定]** ダイアログボックスの **[印刷と保存オプション]** で、印刷、保存、または印刷して保存するかどうかを選択します。
- 3 手順 2 で保存オプションを選択した場合は、保存先フォルダーオプションを指定します。

- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。
- 5 文書を開いて印刷します。
- 6 XPS ファイルに名前を付けて、保存します。

互換性設定

[互換性設定] では、給紙元の値を指定したり、フェイスアップ出力時の逆順出力を無効にしたり、プリンタードライバーからの **[部単位印刷]** 設定を優先したり、**[基本設定]** タブで **[給紙元]** および **[用紙種類]** リストを統合することができます。

クライアント/サーバー環境では、制限ユーザーとしてログインしたクライアントはこの機能を使用できません。

[互換性設定] ダイアログボックスのすべてのオプションをデフォルトに戻すには、**[標準に戻す]** をクリックします。

給紙方法の設定

[給紙方法の設定] は、カセットやフィーダー用の値など、プリンタードライバーに固有の給紙値との互換性をサポートします。新しくプリンタードライバーをインストールした場合でも、それがこのドライバー用であるか、他のメーカーのものかに関わらず、交換したドライバーと同じ給紙サポートを維持します。古いドライバーに給紙のマクロが残っていても、給紙値の調整が維持されるため、マクロを変更する必要はありません。

プリンタードライバー間で指定された給紙元が異なる場合、設定値を割り当て直してドライバー間で一致するようにできます。

給紙の設定

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、**[給紙方法の設定]** リストから給紙方法を選択します。現在の値は、**[設定値]** ボックスに表示されています。
- 2 **[設定値]** に値を入力して、**[適用]** をクリックします。異なるドライバーの設定を同じにするため、この値は他のドライバーの値と揃えておく必要があります。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

フェイスアップ出力時に逆順出力しない

[フェイスアップ出力時に逆順出力しない] を使用すると、フェイスアップ出力時に 1 ページ目が一番上に、最終ページが一番下に出力されます。

チェックボックスをオンにすると、**[基本設定]** タブの **[部単位印刷]** : **[オフ (逆順印刷)]** オプションは無効になります。

チェックボックスをオフにすると、**[基本設定]** タブの **[部単位印刷]** : **[オフ (逆順印刷)]** オプションは有効になります。

フェイスアップ出力時の逆順出力の設定

- 1 **[デバイス設定]** > **[互換性]** で、**[フェイスアップ出力時に逆順出力しない]** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

ドライバーの部単位設定を優先する

このオプションは、ソフトウェアアプリケーションの **【部単位印刷】** 設定を無視し、プリンタードライバーの設定を優先させます。

オンにすると、プリンタードライバーの **【部単位印刷】** 設定が使用されます。

オフにすると、アプリケーションの **【部単位印刷】** 設定が使用されます。

プリンタードライバーの部単位印刷設定の優先選択

- 1 **【デバイス設定】>【互換性】** で、**【ドライバーの部単位設定を優先する】** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

給紙元リストにメディアタイプも表示する

ドライバーの **【基本設定】** タブを変更して、**【用紙種類】** と **【給紙元】** を **【給紙元】** という名前の1つのリストに統合することができます。統合したリストでは、最初に用紙種類が表示され、次にカセットと **【手差しトレイ】** が続いて表示されます。

統合された給紙元リストの作成

- 1 **【デバイス設定】>【互換性】** で、**【給紙元リストにメディアタイプも表示する】** を選択します。
- 2 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

プラグインの削除

ドライバーに設定されているプラグインを削除できます。削除すると、ドライバーのインターフェイスにはプラグインの機能は表示されません。

参考: **【Output to PDF】** (PDF 作成) モジュールを削除する場合は、**【PDF】** が PDL として選択されていないことを確認してください。

- 1 **【デバイス設定】** で、**【バージョン情報】>【プラグイン】** をクリックします。
- 2 リストからプラグインモジュールを選択して、**【削除】** をクリックし、次に **【はい】** をクリックします。
- 3 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

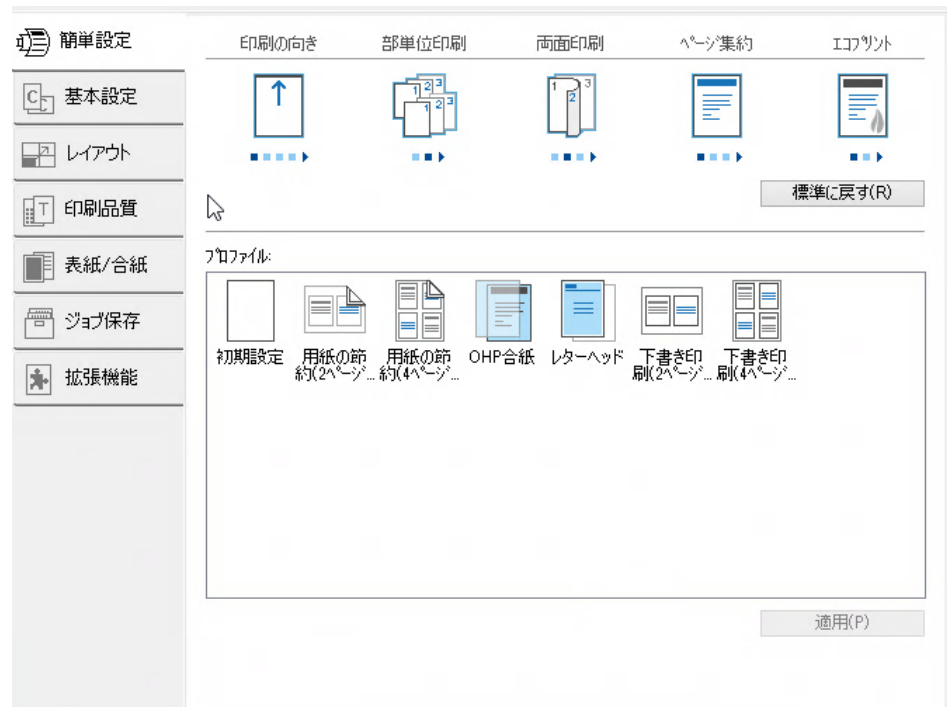
4 簡単設定

【簡単設定】タブでは、印刷ジョブに基本的な印刷設定を適用することができます。簡単なユーザーインターフェイスですばやくオプションを選択できます。

【簡単設定】の設定はプロファイルと呼ばれるグループとして保存し、すべての印刷ジョブに適用できます。プロファイルでは一般的な印刷タスクがサポートされています。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

【簡単設定】タブを表示するかどうかは、**【インストール】**処理中、または**【デバイス設定】**>**【管理者設定】**で管理者が設定できます。



簡単設定オプション

【簡単設定】タブでは、最大5つまで印刷オプションを設定できます。**【編集/追加】**機能を使用すると、印刷オプションの表示をカスタマイズできます。よく使う印刷ジョブを、事前に定義した設定と登録されたプロファイルを選択して印刷を行えます。

印刷の向き

【印刷の向き】アイコンを繰り返しクリックすると、印刷方向を縦、横、縦回転、横回転に変更できます。回転オプションは、印刷の向きを180度回転させます。

部単位印刷

【部単位印刷】では複数部数印刷で、印刷の順番を指定できます。**【部単位印刷】**をオンにすると、印刷ジョブがプリントシステムに送信された後、データはページイメージとしてプリントシステムのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回 PC からプリントシステムに送信することなく、複数部数が印刷できます。

【部単位印刷】アイコンをクリックし、**【オン】**、**【オン (逆順印刷)】**、**【オフ (逆順印刷)】**、**【オフ】**を切り替えます。

【部単位印刷】をオンにすると、ドライバーは 1 冊分を部数分印刷します(123、123)。**【部単位印刷】**をオフにすると、ドライバーはページごとに部数分印刷します (111、222)。例えば、**【部単位印刷】**をオンにし、5 ページの原稿を 3 部出力する場合、1 ページから 5 ページまで連続して、3 回印刷します。

アプリケーションの**【部単位印刷】**設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションの**【部単位印刷】**設定を使用するには、**【デバイス設定】**>**【互換性設定】**で、**【ドライバーの部単位設定を優先する】**のチェックボックスをはずします。

【オン (逆順印刷)】または**【オフ (逆順印刷)】**を選択すると、逆のページ順で印刷されます。これらのオプションは、**【基本設定】**タブの**【排紙先】**で**【プリンターの設定】**が選択されていない場合に有効です。フェイスアップの出力について、**【オフ (逆順印刷)】**は、**【デバイス設定】**>**【互換性】**で無効にできます。

両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。**【両面印刷】**アイコンを繰り返しクリックし、長辺とじ、短辺とじ、オフに変更できます。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。表紙と合紙の両面に印刷するには、**【長辺とじ】**または**【短辺とじ】**を選択する必要があります。

【長辺とじ】

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

【短辺とじ】

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

管理者は、**【デバイス設定】**>**【管理者設定】**>**【ロック設定】**を選択し、**【両面印刷】**を選択することによって、すべてのジョブを両面に印刷できます。

ページ集約

【ページ集約】は、文書のレビューや用紙節約などの目的で 1 枚の用紙に複数のページを印刷します。1 枚の用紙に印刷するページが増えるため、ページサイズが小さくなり読みやすさは低下します。**【ページ集約】**アイコンを繰り返しクリックし、1 枚の用紙に印刷するページ数を 2 ページ、4 ページもしくはオフに変更します。**【レイアウト】**タブから、各ページの境界線を印刷するなどのページの調整も設定できます。

【ページ集約】が選択されている場合、**【レイアウト】**タブで**【変倍】**と**【ポスター印刷】**は使用できません。

管理者は、**【デバイス設定】**>**【管理者設定】**>**【ロック設定】**を選択し、**【ページ集約】**を選択することによって、すべてのジョブをページ集約で印刷できます。

エコプリント

【エコプリント】は、印刷ジョブ内のテキスト、およびグラフィックを薄い濃度で印刷します。**【エコプリント】**は、印刷速度に影響しません。**【エコプリント】**アイコンをクリックし、オン/オフを切り替えます。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[エコプリント] を選択することによって、すべてのジョブが [エコプリント] モードで印刷されるようにすることができます。

簡単印刷オプションの編集/追加

【簡単設定】 タブ上部のアイコンは、頻繁に使用する機能を表示するようにカスタマイズできます。アイコンは 0 - 5 個表示できます。**【簡単設定】** タブで **【プロファイル】** のオプションだけを使用したい場合、すべてのアイコンをビューから削除できます。

参考: 管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] で **【編集/追加ボタンを隠す】** を選択することにより、**【編集/追加】** ボタンを非表示にすることができます。アプリケーションの **【印刷】** メニューからドライバー画面にアクセスした場合は、**【編集/追加】** ボタンは表示されません。

簡単設定オプションの選択

- 1 オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **【スタート】** を右クリック > **【コントロールパネル】** > **【デバイスとプリンターの表示】** をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **【コントロールパネル】** > **【デバイスとプリンターの表示】** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **【スタート】** > **【デバイスとプリンター】** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **【スタート】** > **【コントロールパネル】** > **【プリンター】** をクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **【スタート】** > **【プリンターとFAX】** をクリックします。
- 2 お使いのプリントシステムのモデルを右クリックし、**【印刷設定】** をクリックします。
- 3 **【簡単設定】** タブを選択します。
- 4 **【編集/追加】** をクリックします。
- 5 **【簡単印刷オプションの編集/追加】** ダイアログボックスでは、次の操作を行います。

【簡単設定】 タブに機能を追加するには、**【利用可能な機能】** で機能を選択し、矢印をクリックして **【選択した機能】** に移動します。**【選択した機能】** には最大 5 つの機能を表示できます。

【簡単設定】 タブから機能を削除するには、**【選択した機能】** で機能を選択し、矢印をクリックして **【利用可能な機能】** に移動します。**【簡単設定】** タブで **【プリンタープロファイル】** のみを使用するには、すべての機能を **【利用可能な機能】** に移動します。

上矢印または下矢印をクリックして、**【選択した機能】** で各機能の位置を変更します。一番上の機能は **【簡単設定】** タブでは左側に表示されます。

リストを初期設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。

- 6 **[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。

プロファイル

プリンタードライバーの設定をプロファイルとして保存できます。**[簡単設定]** タブと **[印刷設定]** の各タブで各種設定を行い、それらをプロファイルに保存して、印刷を行う際に一括で適用することができます。プロファイルを使用すると、印刷ジョブごとに各種の印刷設定を繰り返す必要がなく、同一の印刷設定を使う印刷ジョブの実行が簡単になります。**[印刷設定]** では **[名前を付けて保存]** と **[プロファイル]** ボタンが各タブの下部に表示されます。

[初期設定] プロファイルも含めて、1つのドライバーに最大 26 のプロファイルを作成できます。**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** で、**[初期設定]** プロファイルを隠す選択ができます。**[デバイス設定]** で行った設定は、プロファイルには保存できません。

[初期設定] 以外のプロファイルは、編集、削除、インポート、およびエクスポートすることができます。

プロファイルの選択

簡単設定タブ

- 1 **[簡単設定]** タブで、プロファイルを選択します。選択されたプロファイルの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 2 **[適用]** をクリックします。

- 3 **[OK]** をクリックします。

プロファイルダイアログボックス

- 1 **[印刷設定]** 画面の任意のタブで **[プロファイル]** をクリックします。
- 2 **[プロファイル]** ダイアログボックスで、プロファイルを選択します。選択されたプロファイルの設定内容が下の設定リストに表示されます。
- 3 **[適用]** をクリックします。
- 4 **[OK]** をクリックします。

プロファイルの保存

[名前を付けて保存] ボタン

- 1 **[印刷設定]** を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。
- 2 任意のタブで、**[名前を付けて保存]** をクリックします。
- 3 プロファイルを識別するため、**[名称]** を入力し、**[アイコン]** を選択して、**[コメント]** を入力します。
- 4 **[OK]** をクリックしてプロファイルを保存します。

【プロファイル】 ダイアログボックスと **【簡単設定】** タブに新しく追加したプロファイルが表示されます。

参考: プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、**【初期設定】** プロファイルを選択し、**【適用】** をクリックします。これにより、選択したプロファイルの設定は消去されます。

【プロファイル】 ボタン

- 1** **【印刷設定】** を開き、すべての設定を行い、印刷ジョブ用の印刷オプションを設定します。
- 2** 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。
- 3** **【追加】** をクリックします。
- 4** プロファイルを識別するため、**【名称】** を入力し、**【アイコン】** を選択して、**【コメント】** を入力します。
- 5** **【OK】** をクリックしてプロファイルを保存します。
新しく追加したプロファイルが、**【プロファイル】** ダイアログボックスに表示されます。
- 6** **【OK】** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
新しく追加したプロファイルが、**【簡単設定】** タブに表示されます。

参考: プリンタードライバーを初期設定にリセットするには、**【初期設定】** プロファイルを選択し、**【適用】** をクリックします。これにより、選択したプロファイルの設定は消去されます。

プロファイルの編集

- 1** いずれかのタブで **【プロファイル】** をクリックします。
- 2** **【プロファイルの選択】** で、編集するプロファイルを選択し、**【編集】** をクリックします。
- 3** **【名称】**、**【アイコン】**、および**【コメント】** のオプションを編集できます。
- 4** **【OK】** をクリックして変更を保存します。
【プロファイル】 ダイアログボックスと**【簡単設定】** タブに、新たに追加されたプロファイルが表示されます。
- 5** **【適用】** をクリックして、選択したプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**【OK】** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プロファイルの削除

- 1** 任意のタブで **【プロファイル】** をクリックします。

- 2 **【プロファイルの選択】**で、削除するプロファイルを選択し、**【削除】**をクリックします。
- 3 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して**【はい】**をクリックします。
- 4 **【閉じる】**をクリックして**【プロファイル】**ダイアログボックスを閉じます。

プロファイルのインポート

- 1 いずれかのタブで**【プロファイル】>【インポート】**をクリックします。
- 2 既存プロファイル(.KXP)を選択し、**【開く】**をクリックします。
インポートされたファイルの中に、既存のドライバーでは使用できないプロファイル設定が含まれている場合は、メッセージが表示されます。プロファイルをインポートするには**【はい】**を、インポートをキャンセルするには**【いいえ】**をクリックします。
【はい】を選択すると、**【プロファイル】**ダイアログボックスに新しくインポートしたプロファイルが表示されます。
- 3 **【適用】**をクリックして、選択したプロファイルを現在の印刷ジョブで使用するか、**【OK】**をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
新しく追加したプロファイルが、**【簡単設定】**タブに表示されます。

プロファイルのエクスポート

- 1 任意のタブで**【プロファイル】**をクリックします。
- 2 **【プロファイルの選択】**で、エクスポートするプロファイルを選択し、**【エクスポート】**をクリックします。
- 3 **【プロファイルのエクスポート】**ダイアログボックスで、プロファイルに名前を付けて保存します。
- 4 **【OK】**をクリックして**【プロファイル】**ダイアログボックスを閉じます。

アプリケーション別の印刷設定

管理者は、プロファイルをアプリケーションと関連付け、そのアプリケーションからのすべての印刷に同一のプロファイル設定を適用できます。これによりプロファイルが一層使いやすくなり、一貫したアプリケーションからの印刷が保証されます。たとえば、用紙を節約するために両面印刷プロファイルをすべてのスプレッドシートに適用することや、Microsoft Word によるレポート印刷に対して、同一のステープルや一貫した印刷品質を設定することができます。

【アプリケーション別の印刷設定】ダイアログボックス (**【プロファイル】**ダイアログボックスからアクセスできます) で、いつでもプロファイルとアプリケーションを関連付けることができます。最大 25 のアプリケーション別の印刷設定を作成できます。アプリケーションを使用して印刷するには、**【デバイス設定】>【管理者設定】>【一般】**で**【アプリケーション別の印刷設定を有効にする】**をクリックします。

クライアント/サーバー環境で、クライアント PC のユーザー はサーバー上のアプリケーション印刷設定の詳細を確認できますが、設定の変更や別のプロファイルの選択はできません。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[アプリケーション別の印刷設定] を選択することによって、アプリケーションからのすべてのジョブに関連付けられたプロファイル設定を適用できます。

アプリケーション印刷設定の追加

- 1 いずれかのタブで [プロファイル] をクリックします。
- 2 [プロファイル] ダイアログボックスで、[アプリケーション] をクリックします。
- 3 [アプリケーション別の印刷設定] ダイアログボックスで [追加] をクリックします。
- 4 [設定名称] テキストボックスに最大 15 文字までの設定名称を入力します。
- 5 [アプリケーションを選択してください] にて、次の方法でアプリケーションを選択します。
 - [アプリケーション名] を選択し、リストに登録されているアプリケーションを選択します。
 - [ファイル名] を選択し、印刷可能なアプリケーションの実行ファイル名 (.EXE) を入力するか、[参照] をクリックして PC 上にあるファイルを参照します。
- 6 [プロファイルを選択してください] で、リストからプロファイルを選択します。
- 7 すべてのダイアログボックスで [OK] をクリックします。

アプリケーション印刷設定の削除

- 1 任意のタブで [プロファイル] をクリックします。
- 2 [プロファイル] ダイアログボックスで、[アプリケーション] をクリックします。
- 3 [アプリケーション別の印刷設定] ダイアログボックスで、削除するアプリケーション印刷設定を選択し、[削除] をクリックします。
- 4 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して [OK] をクリックします。
- 5 [閉じる] をクリックして [プロファイル] ダイアログボックスを閉じます。

アプリケーション印刷設定の編集

- 1 いずれかのタブで [プロファイル] をクリックします。

- 2 **【プロファイル】** ダイアログボックスで、**【アプリケーション】** をクリックします。
- 3 **【アプリケーション別の印刷設定】** ダイアログボックスで、編集するアプリケーション印刷設定を選択し、**【編集】** をクリックします。
- 4 **【アプリケーション印刷設定の編集】** ダイアログボックスで、**【設定名称】**、**【アプリケーションを選択してください】** または **【プロファイルを選択してください】** で設定を変更します。
- 5 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

5 基本設定

【基本設定】タブでは、よく使うプリンタードライバーの設定を保存できます。元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

簡単設定

基本設定

レイアウト

印刷品質

表紙/合紙

ジョブ保存

拡張機能

出力用紙サイズ:
A4 [100%]

原稿サイズ(P)...

用紙種類:
指定なし

給紙元:
自動選択

排紙先:
プリンターの設定

部数:
1

☐ カーボンコピー(C)
設定(S)...

部単位印刷: オン

印刷の向き: 縦

両面印刷: 長辺とし

エコプリント: オフ

標準に戻す(R)

出力用紙サイズ

【出力用紙サイズ】では、文書を出力する用紙のサイズを選択します。この設定を使用する際は、**【原稿サイズ】**の設定が、アプリケーションで設定されている原稿サイズと一致していることを確認してください。出力用紙サイズがアプリケーションの原稿サイズと異なると、各ページは出力用紙サイズと一致させるために拡大または縮小されます。

カッコ内の数値 (%) は、原稿用紙サイズに対する出力用紙サイズの比率です。

原稿サイズ

【原稿サイズ】では、アプリケーション内のドキュメントサイズを選択できます。選択すると、**【出力用紙サイズ】**リストは、原稿サイズに対する出力用紙サイズの比率を示します。

参考: 大きな用紙サイズ (A0, A1, A2, B1, B2, B3) が選択された場合、縮小・拡大率は 20% 未満となる場合があります。印刷結果は保証されないことを示すメッセージが表示されます。**【レイアウト】**タブの**【ポスター印刷】**機能は、大きな用紙サイズでは使用できません。

標準サイズ以外の不定形サイズの用紙に印刷することもできます。カスタム用紙サイズとして、**【原稿サイズ】** および **【出力用紙サイズ】** リストに保存しておくと、後でそのサイズを選択できます。

【原稿サイズ】 ダイアログボックスには、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**【デバイス設定】** からアクセスして、**【ユーザー設定】** ダイアログボックスの **【単位】** 設定を変更できます。

カスタム用紙サイズの作成

- 1 **【基本設定】** タブで、**【原稿サイズ】** をクリックします。
 - 2 **【原稿サイズ】** ダイアログボックスで、**【新規】** をクリックします。
 - 3 **【名称】** ボックスに、デフォルトのカスタム名が表示されます。カスタム用紙サイズ名を入力します。
 - 4 短辺および長辺の値を入力または選択します。入力した値が制限値を超えた場合、値が自動的に制限値に調整されます。
 - 5 完了したら、**【追加】** をクリックします。
 - 6 **【OK】** をクリックして **【原稿サイズ】** ダイアログボックスを閉じます。
- 【出力用紙サイズ】** のリストにカスタム用紙サイズが表示され、これは出力サイズを拡大または縮小するために使用されます。

カスタム用紙サイズの削除

- 1 **【基本設定】** タブで、**【原稿サイズ】** をクリックします。
- 2 **【原稿サイズ】** ダイアログボックスで、削除するカスタムサイズを選択します。
- 3 **【削除】** をクリックします。
- 4 **【OK】** をクリックして **【原稿サイズ】** ダイアログボックスを閉じます。

カスタム用紙サイズを使用して印刷

- 1 カスタムサイズの用紙を **【手差しトレイ】** に入れます。
- 2 **【基本設定】** タブで、**【出力用紙サイズ】** リストのカスタム用紙サイズ名を選択します。
- 3 **【OK】** をクリックして **【印刷】** ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **【OK】** をクリックして印刷を開始します。

用紙種類

【用紙種類】は、プリントデバイスにアプリケーションまたはプリンタードライバで指定した種類の用紙を選択するよう指示します。選択可能な用紙の種類は、**【給紙元】**の選択によって異なります。デフォルト設定は**【指定なし】**に設定されており、給紙元が用紙切れとなっても他の給紙元に切り替わりません。**【自動選択】**を選択した場合、プリントデバイスは指定と同一の種類とサイズの用紙が給紙されているカセットまたはトレイを選択します。

プリントデバイスからカスタム用紙種類名を表示できます。プリントデバイスで名前が変更された場合は、新しい名前がデフォルト名に替わり表示されます。プリントデバイス名を表示するには、**【デバイス設定】**の**【自動設定】**を使用します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、**【手差しトレイ】**から給紙する必要があります。プリントデバイスの『使用説明書』の指示にしたがって、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

参考: ダイアログボックスでは、**【給紙元】**と**【用紙種類】**は異なる項目となっていますが、**【デバイス設定】**>**【互換性】**の**【給紙元リストに用紙種類も表示する】**を使用すると、1項目として設定することができます。この場合、**【基本設定】**タブの**【用紙種類】**は使用できず、**【給紙元】**リストから用紙種類を選択します。

給紙元

【給紙元】では、印刷ジョブに給紙するトレイまたはカセットを指定します。デフォルト設定は**【自動選択】**で、プリントデバイスはアプリケーションまたはプリンタードライバから要求されている用紙を検索します。印刷中に選択したトレイまたはカセットが用紙切れとなった場合、プリントデバイスは他の給紙元を選択し、印刷を続行します。

OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの用紙種類は、**【手差しトレイ】**から給紙する必要があります。プリントデバイスの『使用説明書』の指示にしたがって、用紙が正しく給紙されていることを確認してください。

参考: ダイアログボックスでは、**【給紙元】**と**【用紙種類】**は異なる項目となっていますが、**【デバイス設定】**>**【互換性】**の**【給紙元リストに用紙種類も表示する】**を使用すると、1項目として設定することができます。この場合、**【基本設定】**タブの**【用紙種類】**は使用できず、**【給紙元】**リストから用紙種類を選択します。

排紙先

この設定では、印刷ジョブの出力に排紙先のトレイを指定します。

部数

この設定では、印刷する部数を指定します。最大 999 部まで印刷できます。

カーボンコピー

この機能を使用すると、別のトレイやカセットから給紙した用紙に、部数を追加して印刷できます。この機能は、例えば請求書のような文書を、異なるカラー用紙または用紙の種類で印刷するときに便利です。カーボンコピーは、最大枚数まで設定して印刷できます。

【拡張機能】タブの**【プロログ/エピログ】**機能を使用して、各カーボンコピーにロゴや見出しを追加できます。

【カーボンコピー】が選択されている場合、**【レイアウト】**タブの**【ブックレット】**機能、**【表紙/合紙】**タブにあるすべての機能が使用できません。

カーボンコピーを印刷

- 1 **【基本設定】**タブで、給紙元と原稿の印刷部数を選択します。
- 2 カーボンコピーを行うために、各給紙元にカラー用紙など任意の種類の用紙をセットします。
- 3 **【カーボンコピー】**チェックボックスを選択します。
- 4 **【設定】**をクリックします。
- 5 **【カーボンコピー設定】**ダイアログボックスで、各給紙元の印刷部数を選択します。
すべての給紙元の印刷部数の合計が、**【合計】**に表示されます。文書ページ数は、トレイが収納できる枚数以下であることが必要です。
- 6 各カーボンコピーの**【給紙元】**または**【用紙種類】**、あるいは両方を選択します。
- 7 **【OK】**をクリックして**【印刷】**ダイアログボックスに戻ります。
- 8 **【OK】**をクリックして印刷を開始します。

部単位印刷

【部単位印刷】では複数部数印刷で、印刷の順番を指定できます。アイコンをクリックし、オン/オフを変更します。

【オン】を選択すると、印刷ジョブがプリントシステムに送信された後、データはページイメージとしてプリントシステムのメモリーに保存されます。残りのジョブは、保存されたデータから印刷されます。これにより、部数ごとにデータを複数回コンピューターからプリントシステムに送信することなく、複数部数が印刷できます。

【オン】を選択すると、ドライバーは1冊分を部数分印刷します。**【オフ】**を選択すると、ドライバーはページごとに部数分印刷します。例えば、**【オン】**を選択し、5ページの原稿を3部出力する場合、1ページから5ページまで連続して、3回印刷します。

アプリケーションの**【部単位印刷】**設定は自動的に無視され、プリンタードライバーの設定が使用されます。アプリケーションの**【部単位印刷】**設定を使用するには、**【デバイス設定】**の**【互換性設定】**ダイアログボックスで、**【ドライバーの部単位設定を優先する】**のチェックボックスを外します。

【オン(逆順印刷)】または**【オフ(逆順印刷)】**を選択すると、逆のページ順で印刷されます。これらのオプションは、**【基本設定】**タブの**【排紙先】**で**【プリンターの設定】**が選択されていない場合に有効です。フェイスアップの出力について、**【オフ(逆順印刷)】**は、**【デバイス設定】**>**【互換性】**で無効にできます。

文書の部単位印刷

- 1 **【基本設定】**タブで、**【部単位印刷】**アイコンをクリックして、オン/オフを切り替えます。

- 2 **[部数]** ボックスで、印刷ジョブの最終部数を入力するか数字を選択します。文書ページ数は、トレイが収納できる枚数以下であることが必要です。
- 3 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 4 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

印刷の向き

この設定では、印刷ジョブの用紙方向を指定します。**[縦]**、**[横]**、**[縦(180°回転)]**、**[横(180°回転)]**のいずれかのアイコンをクリックします。回転オプションを選択すると、印刷ジョブの向きが 180 度回転します。

両面印刷

両面印刷は、用紙の両面に印刷します。両面ユニットにより、用紙を反転させて裏面への印刷が可能です。表紙と合紙の両面に印刷するには、**[長辺とじ]**または**[短辺とじ]**を選択する必要があります。

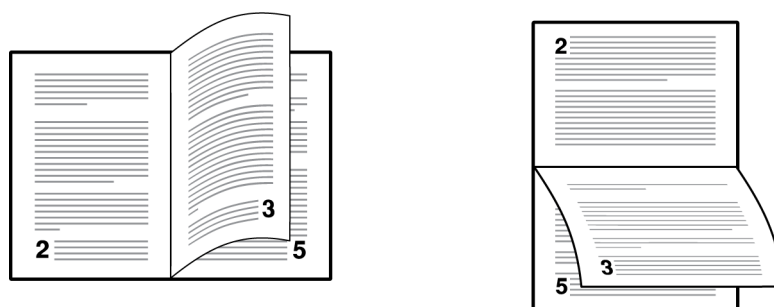
[長辺とじ]

長辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

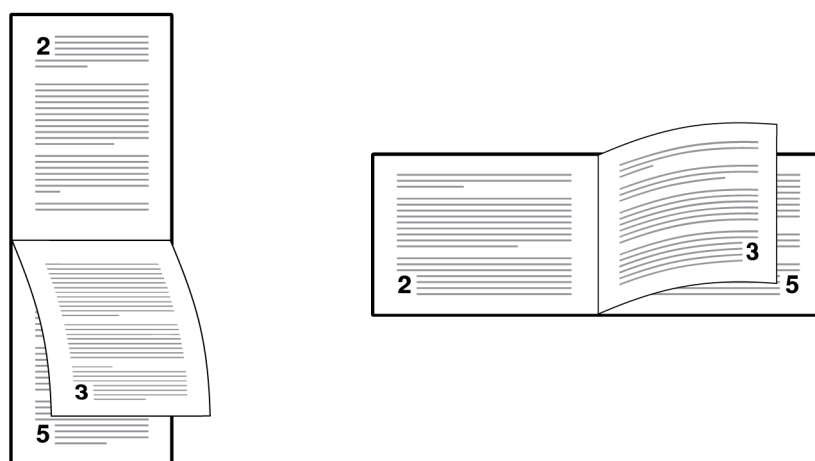
[短辺とじ]

短辺を軸にして開くように見る場合に選択します。

長辺とじ



短辺とじ



管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[両面印刷] を選択することによって、すべてのジョブを両面に印刷できます。

両面印刷モードで印刷

- 1 [基本設定] タブで、[長辺とじ] または [短辺とじ] いずれかのアイコンをクリックします。
- 2 [OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。
- 3 [OK] をクリックして印刷を開始します。

エコプリント

[エコプリント] は、印刷ジョブ内の画像、テキスト、およびグラフィック全体を、薄い濃度で印刷します。[エコプリント] は、印刷速度に影響しません。

[エコプリント] は、[簡単設定] タブと [印刷品質] タブにも表示されます。[簡単設定]、[基本設定]、または [印刷品質] タブで行った変更は、他のタブにも適用されます。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[エコプリント] を選択することによって、すべてのジョブを [エコプリント] モードで印刷できます。

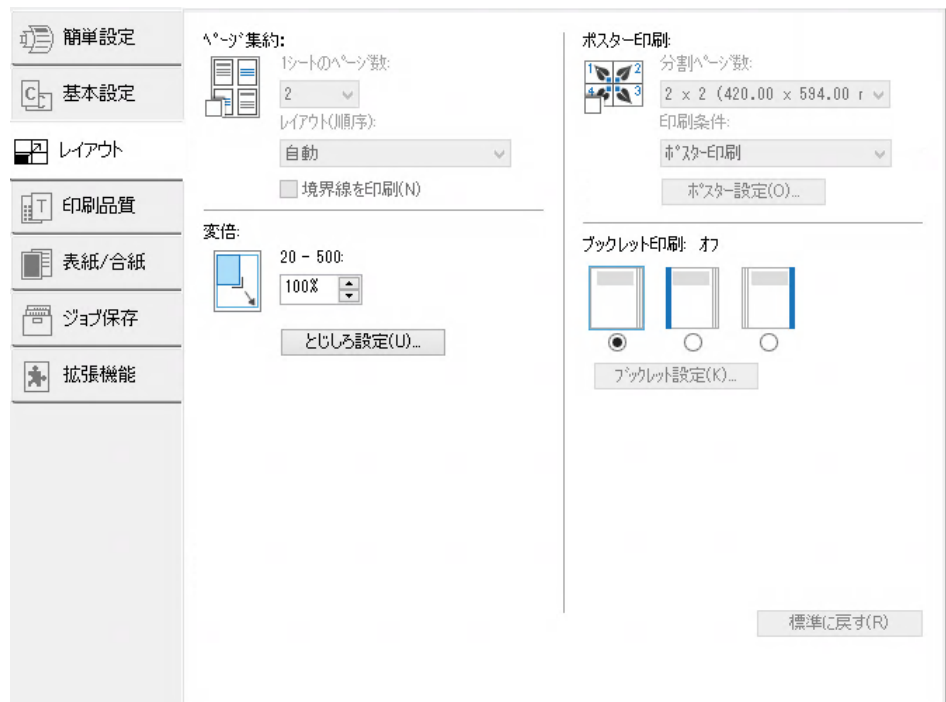
エコプリントの選択

- 1 [基本設定] タブで、オン/オフを切り替えます。[エコプリント] アイコンをクリックします。
- 2 [OK] をクリックして [印刷] ダイアログボックスに戻ります。
- 3 [OK] をクリックして印刷を開始します。

6 レイアウト

【レイアウト】タブで、元の文書のレイアウトを変更することなく、さまざまなレイアウトで印刷できます。

元の設定に戻すには、【標準に戻す】をクリックします。【標準に戻す】ボタンは、アプリケーションの【印刷】ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



ページ集約

【ページ集約】は、文書のレビューや用紙節約などの目的で1枚の用紙に複数ページ印刷します。用紙1枚あたりに印刷されるページ数が増えるため、ページサイズと読みやすさは減少します。【レイアウト】タブから、各ページの境界線を印刷するなどのページの調整も設定できます。

【ページ集約】が選択されている場合、【レイアウト】タブで【変倍】と【ポスター印刷】は使用できません。

管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】を選択し、【ページ集約】を選択することによって、すべてのジョブをページ集約で印刷できます。

ページ集約印刷

- 1 【レイアウト】タブで、【ページ集約】アイコンをクリックします。
- 2 【1 シートのページ数】リストで、1枚の用紙に印刷するページ数を指定します。

- 3 **[レイアウト (順序)]**リストから、ページを並べる方向を選択します。
- 4 各ページの境界線を印刷するには**[境界線を印刷]**をオンにします。
- 5 **[OK]**をクリックして**[印刷]**ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

変倍

[変倍] は、テキストやグラフィックを含むページを拡大または縮小して印刷します。

また、とじしろ設定を選択すると、ステープルや穴あけを行うために、とじしろを拡大することができます。

[レイアウト] タブの他のオプションが選択されている場合、**[変倍]** は使用できません。

ページ内での変倍の設定

- 1 **[レイアウト]** タブで、20～500% の範囲で比率を入力または選択します。
- 2 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

とじしろ

[とじしろ] を増やすと、用紙左側および上側のマージン (余白) が拡大します。**[とじしろ]** は、読みやすくするために、印刷文書をステープルでとじたり、パンチを行ったりする場合によく使用されます。マージンは、印刷領域を右または下にずらすことで大きくなり、25.4 mm (1インチ) まで指定できます。

[とじしろの幅] には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[デバイス設定]** からアクセスして、**[ユーザー設定]** ダイアログボックスの **[単位]** 設定を変更できます。

とじしろの作成

- 1 **[レイアウト]** タブで、**[とじしろ設定]** をクリックします。
- 2 **[とじしろの幅]** で、5.0 から 25.4 mm (0.20 から 1.00 インチ) の範囲で値を入力するか選択します。
 - [短辺とじ (上)]**
これを選択すると、ページ上部の外側のマージンを変更できます。
 - [長辺とじ (左)]**
これを選択すると、ページ左側の外側のマージンを変更できます。

参考: **[とじしろ設定]** が使用できるかどうかは、**[基本設定]** タブの **[印刷の向き]** と **[両面印刷]** の設定によって異なります。

- 3 印刷内容が用紙の端に寄りすぎる場合は、**【ページに合わせて縮小する】**を選択します。印刷内容は用紙の端から離れ少しだけ縮小されます。
とじしろを増やしてもページからはみ出ない場合は**【ページに合わせて縮小する】**をオフにします。
- 4 **【OK】**をクリックしてとじしろの設定を保存し、もう一度**【OK】**をクリックして**【印刷】**ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **【OK】**をクリックして印刷を開始します。

ポスター印刷

【ポスター印刷】機能を使用すると、プリントシステムで印刷可能な用紙サイズより大きなサイズの文書を印刷できます。元の文書の最大 **25 倍**までの大きさの、ポスターやバナーを印刷できます。ポスター文書は分割されて複数枚の用紙に印刷され、ポスター設定の機能を使って再びこれらの用紙を集めることにより、簡単にポスターを作成できます。

【ポスター印刷】が選択されている場合、**【レイアウト】**タブの他のオプションは選択できません。

【分割ページ数】を使用して、元の文書サイズに対応するポスターのサイズを選択します。各オプションには印刷されるページ数と最大ポスターサイズが表示されます。

【分割ページ数】には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**【デバイス設定】**からアクセスして、**【ユーザー設定】**ダイアログボックスの**【単位】**設定を変更できます。

印刷されたポスター用紙をどのようにつなぎ合わせるのを見るには、ポスター設定を選択後、**【印刷条件】**を選択してテスト印刷を行います。

【ポスター印刷】

指定した枚数に実際に分割して印刷します。

【テスト印刷】

すべてのポスターページを 1 枚の用紙に印刷して、どのように仕上がるのが表示します。

【ポスター印刷 + テスト印刷】

すべてのポスター用紙の印刷 (ポスター印刷) と 1 枚のテスト印刷の両方が実行されます。

【ポスター設定】を使用して、ポスターの作成に最も便利のように、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションは、ポスター印刷された用紙に、ページの裁ち落としやページのつなぎ合わせに便利なガイドラインを印刷します。

【のりしろ幅】

隣り合う用紙の端をオーバーラップさせて印刷する機能です。このように端をオーバーラップさせて印刷すると、ポスターの見栄えがよくなります。チェックボックスをオンにして、のりしろ幅を **0.0 から 30.4 mm (0.00 から 1.20 インチ)** の範囲で入力または選択します。この機能を使用すると、最終的なポスターのサイズが少し小さくなります。

【枠線を印刷】

ポスター用紙の端を示す枠線を印刷します。用紙をつなぎ合わせる前に、枠線から外側を切り落としてください。これによって、隣り合う用紙どうしの印刷内容が正確につながります。

【つなぎ目の番号を印刷】

各用紙の端に番号を印刷し、隣り合う用紙と用紙を番号で合わせます。同じ番号の用紙の端を重ね合わせて完成させます。

ポスター印刷

- 1 **[レイアウト]** タブで、**[ポスター印刷]** アイコンをクリックします。
- 2 **[分割ページ数]** でポスターのサイズを選択します。各オプションには仕上がりを1枚の用紙に収めるため分割する枚数が記されています。
- 3 **[印刷条件]** では、仕上がり印刷条件のオプションを1つ選択します。
- 4 **[ポスター設定]** をクリックして、任意の組み合わせでオプションを選択します。これらのオプションによって、ポスターを作成するためのより詳細な設定が行えます。
- 5 **[OK]** をクリックして**[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ブックレット印刷

[ブックレット印刷] 機能を使うと、1枚の用紙に2ページのレイアウトで両面印刷を行うことができます。ブックレットは、用紙の中央で2つに折りたたんでとじることができます。折りたたんだブックレットは、選択した用紙の半分のサイズになります。

[ブックレット設定]ダイアログボックスで、ブックレット印刷のオプションを設定できます。

[レイアウト] では、ブックレット印刷のレイアウトを設定する方法を選択できます。

[ドライバー側で作成]

ページの順序や1枚あたりのページ数の設定を、ドライバー側で行います。アプリケーションで、ブックレット印刷のレイアウトが作成されていない場合に、このオプションを選択します。

[アプリケーション側で作成]

ページの順序や1シートのページ数の設定を、アプリケーション側で行います。アプリケーションで、ブックレット印刷のレイアウトが作成されている場合、このオプションを選択します。

[ブックレット印刷] を選択した場合は、**[レイアウト]** タブの他のオプションは選択できません。

ブックレットの表紙には別の給紙元を選択できます。ブックレットに表紙を含めるには、**[表紙/合紙]** タブで、**[表紙付け]** を選択します。

ブックレット印刷

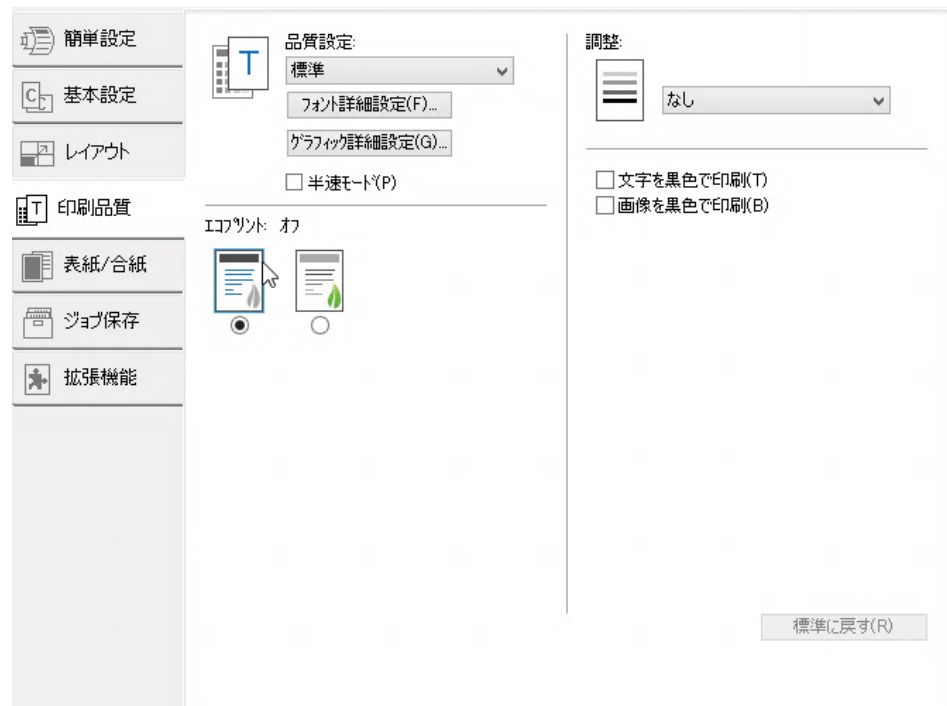
- 1 **[レイアウト]** タブで、とじオプションを選択してアイコンをクリックします。
 - [左とじ]**
左から右に読む文書を印刷する場合に、これを選択します。
 - [右とじ]**
右から左に読む文書を印刷する場合に、これを選択します。

- 2 追加オプションを設定するには、**[ブックレット設定]** をクリックします。
- 3 **[ブックレット設定]** ダイアログボックスで、使用できる **[レイアウト]** オプションから選択し、**[OK]** をクリックします。
- 4 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

7 印刷品質

【印刷品質】 タブで、印刷の品質およびグレースケール設定を管理できます。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



印刷品質とカスタム品質

【品質設定】 では、印刷ジョブの解像度を設定できます。解像度とは、印刷されるテキストや画像の画質や鮮明度を、1 インチあたりのドット数 (dpi) で表したものです。**【カスタム品質の設定】** では、より精度の高い解像度を印刷ジョブに設定できます。**【半速モード】** を使用すると、印刷速度を遅くして、小さめの用紙または厚紙での印刷品質を向上させることができます。

印刷品質の選択

【印刷品質】 タブで、リストから **【品質設定】** を選択します。

【高品質】、**【標準】**、**【ドラフト】**

印刷の解像度を最高から最低の間で印刷するために、これらの設定から 1 つ選択します。**【標準】** は、**【PDL (ページ記述言語)】** ダイアログボックスで **【PCL 5e】** が選択されている場合は使用できません。

【ユーザー定義】

【ユーザー定義】 をクリックして、より細かい解像度を選択できる設定ダイアログボックスを開きます。**【解像度】** を、**【Fine 1200】**、**【Fast 1200】** (PCL

5e では使用不可)、[600 dpi]、または [300 dpi] に設定できます。[KIR] は、テキストおよびベクトルグラフィックスの輪郭を滑らかにし、[オン] または [オフ] に設定できます。

フォント詳細設定

フォントは、書体デザインの同じ文字や記号などの一そろいを含むデータファイルです。フォントの一般的な用語は次のとおりです。

ビットマップフォントとは対照的に、アウトラインフォントは、数学的な線および曲線として定義されます。アウトラインフォントは、(ポイントサイズにかかわらず、ゆがみなく表示および印刷が可能のため) ビットマップフォントと異なり任意に拡大縮小が可能です。

ビットマップフォントは、各文字をピクセル (画像を構成する最小単位のドット) の組み合わせで表現するフォントです。ビットマップフォントは、拡大または縮小を行うと、ゆがみが発生します。

ネイティブフォントは、PC のオペレーティングシステムにインストールされている、基本的なフォントです。TrueType フォントは、Microsoft Windows で使用されるネイティブフォントです。

TrueType フォントは、拡大縮小可能なアウトラインフォントの 1 つです。TrueType は、Microsoft Windows で最も多用されて来た汎用的なフォント形式です。

システムフォントは、オペレーティングシステムで使用される基本のフォントです。システムフォントは通常、アプリケーションインターフェイス、または一般的なフォントダイアログボックスを介して使用されます。

デバイスフォントは、プリントシステムメモリーに恒久的または一時的に保存されています。

フォント詳細設定オプション

[フォント詳細設定] ダイアログボックスでは、TrueType フォントのプリントシステムへの送信方法を選択します。選択した方法は、印刷ジョブの速度と品質に影響を与えます。

[TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロード]

この方法は、複数の異なるフォントやフォントサイズを使用する大きな文書や印刷ジョブに最適です。この設定の最適化機能により印刷の速度も速くなります。同じフォントデータを繰り返しプリントシステムに送信する回数が減ることによって印刷速度が速くなります。日本語、中国語、韓国語などのアジア言語は、これらの特定のフォントに対して大量の情報が使用されているため、印刷速度は速くなりません。

[Type42 フォント送信モード]

この方法は、TrueType フォントを Adobe Type 42 フォント形式に変換することによって、テキストの印刷品質を改良し、印刷速度を上げます。この機能は、[KPDL] が PDL として選択されている場合に使用できます。

[TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロード]

ビットマップとしてフォントをダウンロードすると、より詳細になります。ファイルのサイズは非常に大きくなります。これは、ユーザー定義フォント、非常に小さいフォント (ポイントサイズ 1-4)、またはアジアンフォントなどを使用している印刷ジョブに最適です。

[プリンターフォントに代替える]

フォントの代替えは、プリントシステムで目的のフォントが使用できない場合に、代替りのフォントを使用する機能です。フォントの代替えは、フォントを多数内蔵していないプリントシステムに文書を送信する場合

に、重要な機能です。代替えには標準 PostScript フォントを使用できません。

参考: **[GDI 互換モード]** は **[プリンターフォントに代替えする]** をサポートしていません。

[プリンターフォントを使用しない]

TrueType フォントを、アウトラインフォントまたはビットマップフォントとして送信しても、プリントシステムフォントと置き換えられることがあります。TrueType フォントを、プリントシステムのフォントと代替えしないようにするには、**[プリンターフォントを使用しない]** を選択します。

このオプションによって印刷可能データの可搬性も向上します。このオプションをオフにすると、異なるプリントシステムに送信した場合、プリンターフォントは一致しません。

一部の Adobe アプリケーションでは、プリンターフォントの使用に制限がある場合があります。これらの制限を回避するには、**[プリンターフォントを使用しない]** を選択します。プリンターフォントは、PC側に同等の TrueType フォント (TrueType アイコンで表示) が存在しない場合、アプリケーション内のフォント一覧などではフォント名のとなりにプリンターアイコンが表示されて区別されます。

フォント詳細設定の選択

- 1 **[印刷品質]** > **[フォント詳細設定]** で、いずれかの TrueType フォントの送信方法を選択します。
- 2 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 3 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

フォント代替えの設定

- 1 フォントの代替えを設定するには、印刷ジョブを作成しているアプリケーションではなく、以下の手順によって **[印刷設定]** を開く必要があります。オペレーティングシステムによって、次の手順で行います。

Windows 10、Windows 8.1 および Windows Server 2012 R2: **[スタート]** を右クリック > **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** をクリックします。

Windows 8 および Windows Server 2012: **[コントロールパネル]** > **[デバイスとプリンターの表示]** を開きます。

Windows 7 および Windows Server 2008 R2: **[スタート]** > **[デバイスとプリンター]** をクリックします。

Windows Vista および Windows Server 2008: **[スタート]** > **[コントロールパネル]** > **[プリンター]** をクリックします。

Windows XP および Windows Server 2003: **[スタート]** > **[プリンターとFAX]** をクリックします。
- 2 目的のプリントデバイスのモデルを右クリックし、**[印刷設定]** をクリックします。
- 3 **[印刷品質]** > **[フォント詳細設定]** で **[プリンターフォントに代替えする]** を選択してから **[フォントの代替え]** をクリックします。

[フォントの代替え] ダイアログボックスの [システムフォント] リストにはコンピュータにインストールされているフォントが表示されます。 [使用可能プリンターフォント] リストには、プリントデバイスのフォントが表示されます。

- 4 システムフォントを選択し、それに代替えするプリンターフォントを選択します。
- 5 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。
システムフォントと類似するフォントがプリンターフォントに存在しない場合、文書内の文字間隔などが正しく表示されない場合があります。

プリンターフォントを使用しない

- 1 **[印刷品質] > [フォント詳細設定]** で、**[プリンターフォントを使用しない]** チェックボックスを選択します。
- 2 **[OK]** をクリックして、設定内容を保存します。

グラフィック詳細設定

グラフィックは、情報を画像で表したものです。 グラフィックを使ってチャートやダイアグラムなどの機能的な情報を表示したり、描画や写真などのアートを表示したりできます。 **[グラフィック詳細設定]** では、選択したPDL (ページ記述言語) で設定可能なオプションを使って、印刷したグラフィックの視覚的な結果を調整することができます。

パターンスケーリング

[パターンスケーリング] は、印刷対象がモニター上で表示される画質と、実際に印刷出力されたときの画質を、できるだけ同じにするための機能です。 図形やパスなどのオブジェクトには、ドットの集合体から構成される網目パターンや塗りつぶし領域が含まれることがあります。 パターンとは、規則的あるいは不規則的に反復された色や図形、線、値、背景から構成され、視覚的な配列を作り出します。 フィルとは、色または階調によってオブジェクトを塗りつぶすものです。 印刷されたパターンやフィルが画面の表示と一致しない場合、**[パターンスケーリング]** を使用して、他のドット密度を使用してみてください。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、**[パターンスケーリング]** 設定を選択します。

[自動] (デフォルト設定)

この設定は画面の表示に最も近いパターンおよびフィルで印刷します。

[粗い]

この設定は、パターンやフィルを最も少ない数の線、パターン、またはドットで印刷します。 **[粗い]** は、**[PCL XL]** または **[PCL 5e]** が PDL として選択されている場合は、**[自動]** と同じです。

[中間]

この設定は、線数やパターン、およびドットを、**[粗い]** 場合より上げて、パターンおよびフィルを印刷します。 **[KPDL]** が PDL として選択されている場合、**[中間]** は、**[自動]** と同じです。

[精細]

細かいドットのパターンで印刷します。印刷結果は画面表示より濃くなる場合があります。

細線化

[細線化] は、バーコードや描画に使用される線のペン幅を調整する機能です。アプリケーションで設定された線の太さは変更できません。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、細線化設定を選択します。**[PCL XL]** が PDL として選択されている場合、細線化機能を使用できます。**[PDL (ページ記述言語)]** ダイアログボックスで、**[GDI 互換モード]** が選択されている場合、細線化機能は使用できません。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、**[細線化]** 設定を選択します。

[オフ] (デフォルト設定)

細線化は適用されません。

[バーコード]

この設定は、縦線と横線のペン幅を調整します。バーコードの読み取りやすさが向上します。

[細線のみ]

この設定は、縦線、横線、斜線のペン幅を調整します。

[すべての線]

バーコードや描画に使用する縦線、横線、斜線のペン幅を 1 ドット減らします。

[デバイスで細線を補正する]

ドライバー側ではなく、デバイス側でのペン幅補正を有効にして、バーコード印刷の品質を向上させます。

反転のオプション

オプションでは、印刷内容を写真のネガのようなイメージや、鏡像のように逆になるように印刷します。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、**[オプション]** の設定を選択します。この設定は、**[KPDL]** が PDL として選択されている場合に使用できます。

[ネガティブイメージ印刷]

この設定は、画像を写真のネガのように、画像の白と黒の領域を反転して印刷します。

[ミラーイメージ印刷]

この設定は、画像が鏡に映ったように、ページを左右反転して印刷します。

イメージデータ方式

[イメージデータ方式] は、プリントシステムの機能あるいは効率を向上するための処理または方法です。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定] で、**[イメージデータ方式]** を選択します。この設定は、**[KPDL]** が PDL として選択されている場合に使用できます。

[バイナリー]

この設定は印刷速度を上げ、スプールドータ量を削減します。イメージをバイナリー形式で送信します。これはほとんどすべての印刷ニーズに対して使用できます。

[ASCII]

この設定は、ASCIIテキストエンコードでPostScriptファイルを作成します。[バイナリー]で作成したバイナリー形式とは異なり、この選択を使用して作成したASCIIテキストは編集可能です。

CIE オプション

[CIE 最適化]を使用すると、Adobe Acrobat や Photoshop などのアプリケーションで使用される、CIE カラースペースによる各処理で実行される通常の処理をバイパスします。この機能を使用すると、CIE データの最適化によって、これらのアプリケーションから印刷する文書の印刷速度が速くなります。CIE データを使用していない印刷ジョブに対しては効果はありません。[CIE 最適化]は精度よりも印刷速度を重視する場合に選択されるため、実際に印刷される出力と画面上の表示が異なる場合があります。

[印刷品質] > [グラフィック詳細設定]で、[CIE 最適化] チェックボックスを選択します。[CIE 最適化]は、[KPDL]がPDLとして選択されている場合に使用できます。

ハーフトーンスクリーン

[ハーフトーンスクリーン]では、熟練したユーザーは、写真にみられるような異なるグレーの色合いを印刷できます。この色合いは、さまざまなサイズと形状のドットの印刷、およびそれらの間隔の密度を調節することで生成されます。さらに、この色合いは、データの線数、角度、および網点形状によって調節できます。

[ハーフトーンスクリーン]は、PDLとして[KPDL]が選択される場合に利用可能です。[GDI互換モード]が[PDL (ページ記述言語)]ダイアログボックスで選択されている場合は、使用できません。

ハーフトーンスクリーンの設定

1 [印刷品質] > [グラフィック詳細設定]で、[ハーフトーンスクリーン]を選択します。

2 [プリンターの初期値を使う] チェックボックスをオフにします。

3 利用可能な以下のオプションを任意の値に設定します。

[インク]

このオプションは常に[白黒]に設定され、選択できません。

[線数]

インチまたはセンチメートルごとのドットの行数が表示されます。2.0 ~ 999.9 の範囲で設定し、[lines/inch] または [lines/cm] を選択します。

[角度]

文字列が整列される角度を設定します。-180 ~ 180 度の範囲で設定します。

[網点形状]

以下から、ハーフトーンドットの形状を選択します。

[楕円]

視覚上の急転に耐性があります。視覚上の急転は、イメージの領域が突然暗くなる場合に発生します。楕円の形状によって、滑らかなトーンのグラデーションが実現します。暗い領域のあるイメージには、[楕円]を選択します。

【円】

モアレ構造とドットゲインに耐性があります。モアレ構造とは、2つ以上の色が誤った角度で印刷された場合に発生する、予期しないパターンのことです。正しい角度は、印刷される色数に依存します。ドットゲインとは、印刷時にハーフトンドットが増加し、モアレのパターンになった場合のことを指します。薄い色合いの強調された領域のあるイメージには、【円】を選択します。

【ライン】

特殊効果に使用します。異なる角度を選択して効果を変更するには、【ライン】を選択します。

- 4 印刷品質を向上させるには、【アキュレートスクリーンを使用】を選択します。このオプションを使用すると、印刷時間が長くなる場合があります。
- 5 【OK】をクリックして【印刷】ダイアログボックスに戻ります。
- 6 【OK】をクリックして印刷を開始します。

半速モード

【半速モード】を使用すると、印刷速度を通常の約半分に落として印刷します。これを選択すると、小さなサイズや厚手の用紙、表面の平滑性が低い用紙へ印刷する際、トナーの定着性が向上します。このモードでは印刷中の音を低減できる場合があります。

この機能を有効にするには、【印刷品質】タブで、【半速モード】チェックボックスを選択します。

参考: 【半速モード】は、【OHPフィルム】と【薄紙】を除くすべての用紙種類に設定できます。

エコプリント

【エコプリント】は、印刷ジョブの画像やテキスト、およびグラフィック全体を薄く印刷し、トナー消費量を抑える機能です。【エコプリント】は、印刷速度に影響しません。トナーの使用量は、使用する機種や印刷するデータの種類(テキスト、グラフィックなど)によって異なります。

【エコプリント】は、【簡単設定】または【基本設定】タブでも選択できます。

管理者は、【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】を選択し、【エコプリント】を選択することによって、すべてのジョブを【エコプリント】モードで印刷できます。

エコプリントの選択

- 1 【印刷品質】タブで、【エコプリント】アイコンをクリックし、【オン】と【オフ】を切り替えます。
- 2 【OK】をクリックして【印刷】ダイアログボックスに戻ります。
- 3 【OK】をクリックして印刷を開始します。

白黒印刷のバランス調整

白黒印刷のバランス調整は、グラフィックの明るさとコントラストを変更します。これらの設定は、グラフィックイメージが明るすぎる、薄すぎる、あるいは暗すぎる場合に便利です。テキストには影響しません。

白黒設定の調整

- 1 **[印刷品質]** タブの **[調整]** リストで、**[ユーザー定義]** を選択します。
[バランス調整] ダイアログボックスのプレビューイメージに明るさとコントラストの変更が表示されます。
- 2 印刷ジョブのグラフィックイメージをより明るくしたり暗くしたりするには、**[明るさ]** の値を入力または選択します。
+100 で最も明るくなり、-100 で最も暗くなります。0 はデフォルトで中間レベルの明るさです。イメージが明るすぎたり暗すぎたりする場合は、明るさを調整してグラフィックイメージをカスタマイズできます。
- 3 印刷ジョブのグラフィックイメージの明暗のコントラストを増減するには、**[コントラスト]** の値を入力または選択します。
コントラストの設定を高くすると、グレースケールのスペクトルが減少し、明るいグレーはより明るく、暗いグレーはより暗くなります。コントラストの設定を低くすると、グレースケールのスペクトルが増加し、明るい部分はより暗く、暗い部分はより明るくなります。
+100 で最もコントラストが強くなり、-100 で最も弱くなります。0 はデフォルトで中間レベルのコントラストです。コントラストの調整は、グラフィックイメージがぼやける、または明暗がはっきりしすぎて印刷される場合に便利です。テキストには影響しません。
- 4 **[標準に戻す]** をクリックするとデフォルトの設定に戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして、新しい白黒の設定を保存します。

テキストと図の効果

次の特殊設定が可能です。

[文字を黒色で印刷]

このオプションはすべての文字を黒色で印刷します。プリンターに送るカラーテキストのデータ量が減るため、印刷が高速化されます。白黒印刷では、この機能を使用することで、印刷された淡色テキストのきめ細かさが向上します。

[画像を黒色で印刷]

このオプションは、すべての画像をグレースケールではなく黒色で印刷します。この機能は CAD アプリケーション向けです。

8 表紙/合紙

【表紙/合紙】タブでは、印刷ジョブに表紙や合紙を追加したり、OHP フィルムの中に用紙を挿入したりできます。このタブの機能は、**【PCL XL】**、**【KPDL】**、または **【XPS】** が PDL として選択されている場合にのみ使用できます。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】** をクリックします。**【標準に戻す】** ボタンは、アプリケーションの **【印刷】** ダイアログボックスからプリンタードライバにアクセスした場合に表示されます。

簡単設定

基本設定

レイアウト

印刷品質

表紙/合紙

ジョブ保存

拡張機能

表紙付け:

☐ 表紙のみ(F)

☐ 表紙と裏表紙(D)

印刷面:

表紙

☐ 外側(T)

☐ 内側(N)

裏表紙

☐ 内側(K)

☐ 外側(E)

表紙の給紙方法:

自動 (指定なし)

OHP合紙:

☐ 合紙に印刷(O)

合紙の給紙方法:

自動 (指定なし)

合紙:

印刷面:

☐ おもて面(X)

☐ 裏面(B)

合紙挿入位置:

合紙の給紙方法:

自動 (指定なし)

標準に戻す(R)

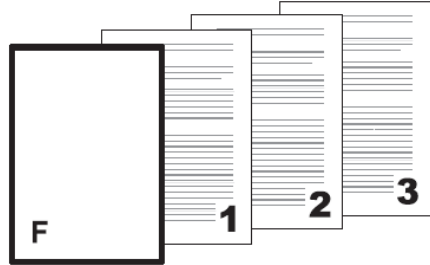
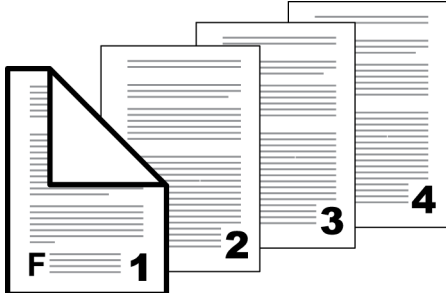
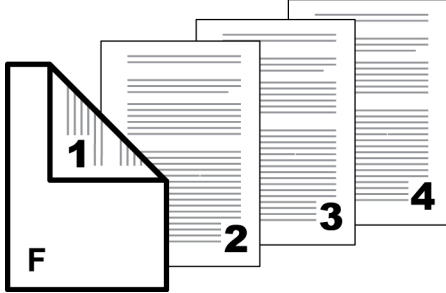
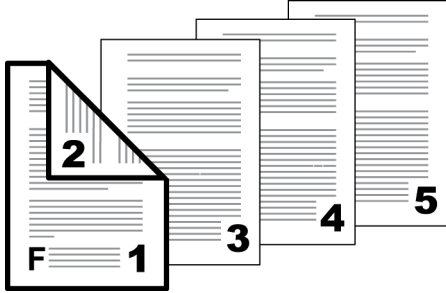
表紙付け

【表紙付け】 は、文書の表紙および裏表紙に表紙付けページを追加する機能です。本文ページに使用する用紙とは別の厚手の用紙やカラー紙などを使い、表紙を印刷することができます。表紙の給紙元は、同じく**【表紙/合紙】** ダイアログボックスのタブの **【表紙の給紙方法】** 設定で指定します。

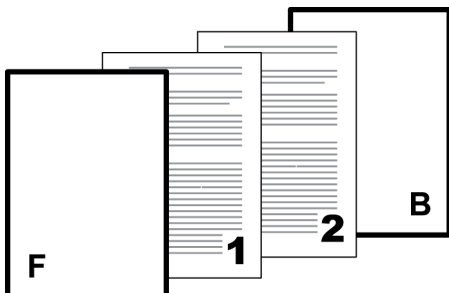
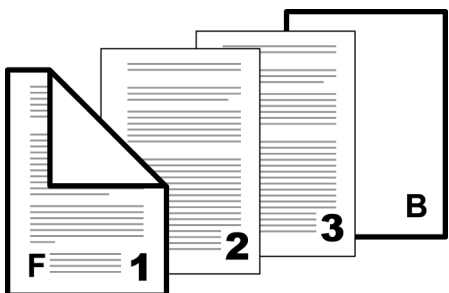
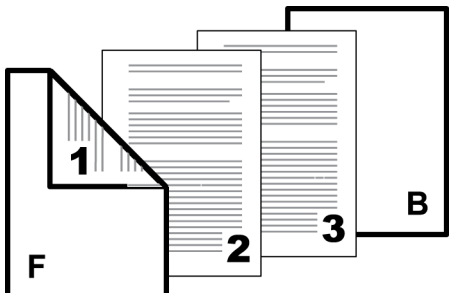
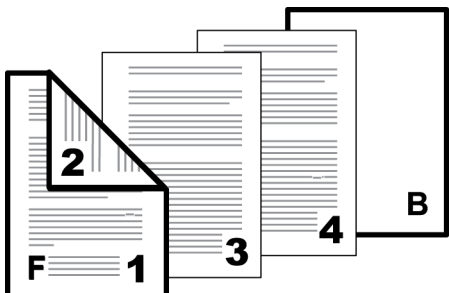
【表紙】/**【内側】** または **【裏表紙】**/**【外側】** オプションを使用して印刷するには、**【基本設定】** タブまたは **【簡単設定】** タブで両面印刷を選択する必要があります。

【表紙付け】 と **【合紙】** は併用できますが、これらのオプションは、**【OHP 合紙】** とは併用できません。

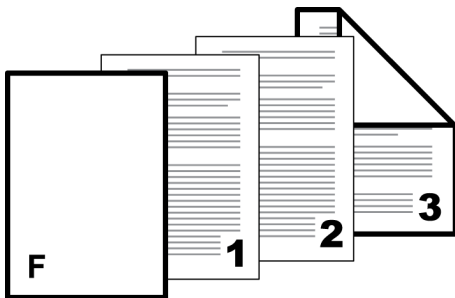
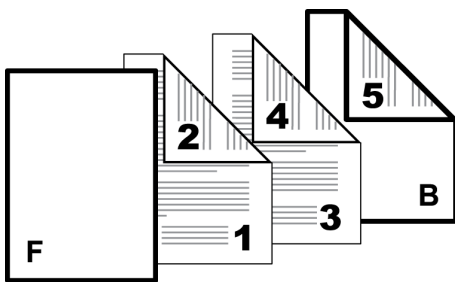
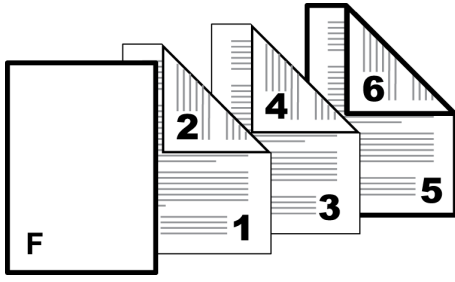
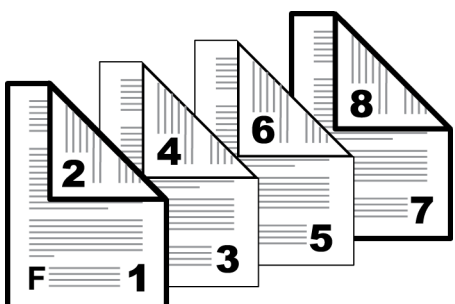
表紙付けオプション

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙のみ	白紙の表紙を追加します。 
表紙のみ 表紙：外側	表紙の外側に印刷します。 
表紙のみ 表紙：内側	表紙の内側に印刷します。 
表紙のみ 表紙：外側 表紙：内側	表紙の両面に印刷します。 

— 続く

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙	白紙の表紙と裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：外側	表紙の外側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：内側	表紙の内側に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：外側 表紙：内側	表紙の両面に印刷し、白紙の裏表紙を追加します。 

— 続く

チェックボックスの選択	表紙挿入の種類
表紙と裏表紙 裏表紙：内側	裏表紙の内側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙：外側	裏表紙の外側に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 裏表紙：内側 裏表紙：外側	裏表紙の両面に印刷し、白紙の表紙を追加します。 
表紙と裏表紙 表紙：外側 表紙：内側 裏表紙：内側 裏表紙：外側	表紙と裏表紙の両面に印刷します。 

表紙の印刷

- 1 **[表紙/合紙]**タブで、**[表紙付け]**アイコンをクリックします。
- 2 **[表紙のみ]** または **[表紙と裏表紙]** を選択して印刷する表紙の種類を指定します。

- 3 表紙に印刷する場合は、**[印刷面]**オプションから選択します。
- 4 **[表紙の給紙方法]**リストで、表紙と裏表紙の用紙種類または給紙元を選びます。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

OHP 合紙

[OHP合紙] 印刷では、印刷される各 OHP フィルムの間に合紙を挿入します。合紙は間紙とも呼び、OHP フィルムに汚れや傷がつくのを防ぎ、フィルム同士が張り付くのを防ぎます。この機能は、OHP フィルムを **[手差しトレイ]** から給紙して印刷する場合にのみ使用可能です。挿入する合紙に、OHP フィルムと同じ文書を印刷することもできます。

[OHP 合紙] 印刷の機能は、**[表紙付け]** および **[合紙]** との組み合わせはできません。

OHP フィルム間への合紙の挿入

- 1 **[基本設定]** > **[用紙種類]** で、**[OHP フィルム]** を選択します。**[給紙元]** と **[用紙種類]** リストが組み合わせされている場合 (**[デバイス設定]** > **[互換性]** で選択)、**[用紙種類]** は表示されません。代わりに **[給紙元]** リストで、**[自動 (OHP フィルム)]** を選択します。
- 2 **[表紙/合紙]** タブで、**[OHP 合紙]** アイコンをクリックします。
- 3 OHP フィルムと同じ内容を合紙にも印刷する場合は、**[合紙に印刷]** チェックボックスをオンにします。
- 4 **[合紙の給紙方法]** ドロップダウンリストから、用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。
プリントシステムの操作パネルには、OHP フィルムを **[手差しトレイ]** にセットするよう、また必要に応じて、合紙の用紙を選択したカセットにセットするよう求めるメッセージが表示されます。

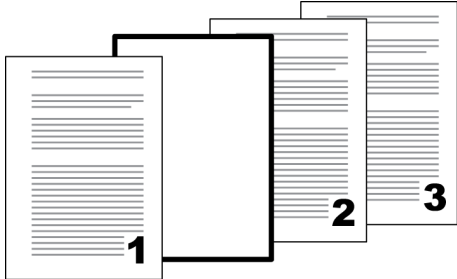
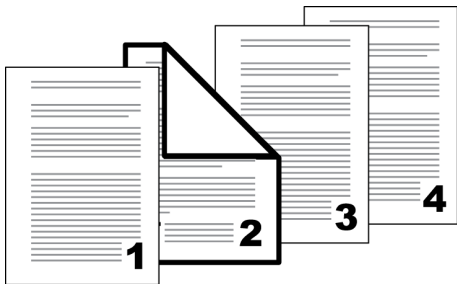
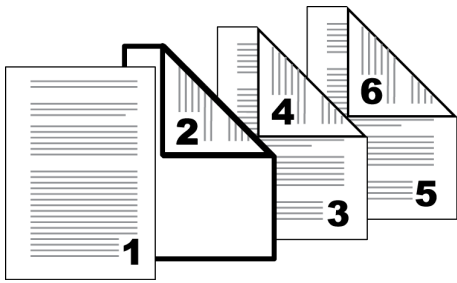
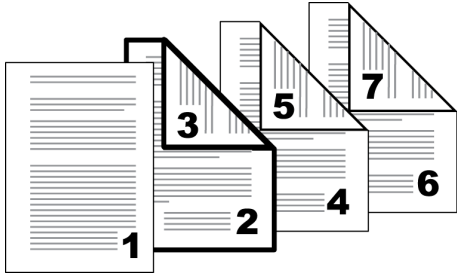
合紙

[合紙] とは、プレプリントされたページ、または印刷ジョブの指定された箇所に挿入される異なった種類の用紙のことです。また、その用紙に印刷することも可能です。両面ユニットを使用すると、合紙裏面に印刷することもできます。

[裏面] オプションを使用して印刷するには、**[基本設定]** または **[簡単設定]** タブで両面印刷を選択する必要があります。

[表紙付け]と[合紙]は併用できますが、これらのオプションは、[OHP 合紙]とは併用できません。

合紙印刷の組み合わせ

チェックボックス選択	合紙の種類
合紙	合紙として白紙を挿入する。
	
合紙 おもて面	合紙のおもて面に印刷する。
	
合紙 裏面	合紙の裏面に印刷する。
	
合紙 おもて面 裏面	合紙の両面に印刷する。
	

合紙印刷

- 1 [表紙/合紙] タブで、[合紙] アイコンをクリックします。

- 2 合紙のおもて面または裏面に印刷を行う場合は、**[おもて面]** または **[裏面]** チェックボックスをオンにします。
- 3 **[合紙挿入位置]** に、差し込む位置のページ番号を入れます。合紙は、入力したページ番号とその前のページの間に差し込まれます。
- 4 **[合紙の給紙方法]** ドロップダウンリストから、合紙の用紙種類または給紙元を選択します。用紙種類を選んだ場合は、自動的に用紙種類と一致する給紙元が選択されます。
- 5 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 6 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

9 ジョブ保存

【ジョブ保存】の機能を使用すると、プリントデバイスにインストールされているメモリーに印刷ジョブを保存できます。また、**【ジョブ名】**を選択してジョブ保存機能と合わせて使用できます。このタブは、Microsoft Windows アプリケーションから文書を印刷する際に、デフォルト設定を決定、または変更する場合に使用します。

元の設定に戻すには、**【標準に戻す】**をクリックします。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。

管理者は**【デバイス設定】>【管理者設定】>【ロック設定】**を選択し、**【ジョブ保存】**を選択することによって、**【ジョブ保存】**タブで選択した設定ですべてのジョブを保存または印刷されるようにすることができます。

ジョブ拡張機能

タイプ:
試し刷り後、保留

ジョブ名:

☒ アプリケーション定義(F)
☒ アプリケーション名をジョブ名に使用しない(U)
☐ ユーザー定義(G):
上書きモード:
ジョブ名 + 日付と時間を付

標準に戻す(R)

ジョブ拡張機能

【ジョブ拡張機能】は、印刷ジョブをプリントデバイスのメモリーに保存するための各種設定や、それらの印刷ジョブの印刷の実行や、再印刷する機能が含まれます。印刷ジョブは、プリントデバイスの操作パネルから後で簡単に印刷しなおことができ、機密文書の印刷を許可されたユーザーだけに制限することも可能です。

この機能は、高度な印刷管理をデスクトップから直接行うことのできる多層的なソリューションです。プリントデバイスにジョブを保存することにより、コンピューターからジョブを再送信しなくても、操作パネルからいつでも再印刷することが可能です。

[ジョブ拡張機能] を利用する場合、[デバイス設定] にある [ユーザー設定] ダイアログボックスで、ユーザー名を設定することもできます。Windows のログインユーザー名を使用する場合（デフォルト）は、ユーザー名の設定は不要です。

ジョブ拡張機能のオプション

	ストレージロケーション	必要なアクセスコード	ジョブの印刷時	ジョブがメモリーから削除される時
[ユーザーボックス]	SSD	オプションパスワード	操作パネルからの出力時	手動で削除、または最大31日間
[クイックコピー]	SSD または SD カード	なし	PCから送られた時	プリントシステムの電源オフ時、ストレージデバイス容量の超過時、またはジョブ保持日数経過時
[試し刷り後、保留]	SSD、RAM ディスク、または SD カード	なし	ジョブが送られた時に 1 部印刷し、残りは後で印刷	プリントシステムの電源オフ時、またはジョブ保持日数経過時
[プライベートプリント]	SSD、RAM ディスク、または SD カード	あり	操作パネルからアクセスコードが入力された時	プリントシステムの電源オフ時、印刷後、またはジョブ保持日数経過後
[ジョブ保留]	SSD または SD カード	オプション	操作パネルからの出力時	手動で削除された時

ユーザーボックス

[ユーザーボックス] では、印刷ジョブはプリントシステムの操作パネルから印刷されるまで保存されます。保存したジョブはストレージデバイスから 1 つまたは複数を印刷できます。

印刷ジョブはストレージデバイスに 1 ～ 31 日間保存するか、もしくは印刷後に削除できます。

ユーザーボックスは、プリントシステムのホームページで、また [デバイス設定] からアクセスする [SSD 設定] ダイアログボックスで、ユーザーごとに設定する必要があります。ユーザーボックスは最大 1000 個作成できます。

ユーザーボックスにジョブを保存

- 1 [ジョブ保存] タブで [ジョブ拡張機能] アイコンをクリックします。
- 2 [タイプ] リストで、[ユーザーボックス] を選択します。
- 3 [設定] をクリックします。
- 4 [ユーザーボックス設定] オプションを選択します。

[特定のボックス番号を使用] を選択した場合、そのボックス番号とパスワードを入力します。

[印刷時にボックス番号を入力] を選択し、[OK] をクリックします。印刷を開始すると、[ユーザーボックス] ダイアログボックスが表示されます。[定

義されたユーザーボックス] リストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

[印刷時にボックスリストから選択] を選択し、[OK] をクリックします。印刷を開始すると、[ユーザーボックス] ダイアログボックスが表示されます。リストからボックスを選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。これは、[SSD 設定] ダイアログボックスで [共有ボックス] が選択されている場合に選択することができます。

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認] を選択し、[OK] をクリックします。印刷を開始すると、[ユーザーボックス] ダイアログボックスが表示されます。ボックス番号を入力します。パスワード保護を行うには、[パスワードの確認] を選択し、パスワードを入力します。これは、[SSD 設定] ダイアログボックスで [共有ボックス] が選択されている場合に可能です。

5 [OK] をクリックして[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

6 [OK] をクリックして印刷を開始します。

[ログインユーザー毎にボックス番号を確認] が選択されている場合、ドライバーはユーザーボックスからログインユーザー名を検索してユーザーボックス名として使用します。

一致したユーザー名が見つかったと、そのユーザーボックスを使用して印刷ジョブが実行されます。

一致したユーザー名が見つからなかった場合、ドライバーは管理者権限またはユーザー権限のチェックを行います。管理者権限を持っている場合、ボックス番号および印刷ジョブ用のパスワードを入力するよう求められます。ドライバーは Windows のログインユーザー名を検索し、ボックス番号とパスワードとともに、この名前をドライバーのユーザーボックスリストに追加します。ユーザー権限の場合、印刷ジョブはキャンセルされます。ユーザーには管理者に問い合わせるよう促すメッセージが表示されます。

クイックコピー

[クイックコピー] は、印刷ジョブのすべての部数を印刷した後、再び印刷できるようにするため、印刷ジョブを一時的にストレージデバイスに保存しておく、[ジョブ拡張機能] のオプションです。この機能を使用するには、ストレージデバイスがインストールされていて、[デバイス設定] で選択されている必要があります。

[クイックコピー] は、文書の印刷後に追加部数を印刷することが必要になった場合などに便利です。その場合は、PC からジョブを再送信することなく、プリントデバイスの操作パネルから追加部数を設定し、印刷を行うことができます。

保存可能な [クイックコピー] ジョブおよび [試し刷り後、保留] ジョブの数は、プリントデバイスの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。[クイックコピー] ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリントシステムの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、[上書きモード] で、[ジョブ名 + 日付と時間を使用] を選択します。

参考: この機能を SD カードで使用する際は、**[デバイス設定]** で、**[RAM ディスク]** のチェックボックスをオフにします。デバイスの **RAM ディスク** 設定もオフにします。

クイックコピージョブの印刷

- 1 **[ジョブ保存]** タブで **[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]** リストで、**[クイックコピー]** を選択します。
- 3 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

試し刷り後、保留

[試し刷り後、保留] は、印刷ジョブを 1 部印刷してから残りの部数を印刷することで、印刷結果を確認できる **[ジョブ拡張機能]** のオプションです。この機能は、プリントデバイスにストレージデバイスがインストールされている、または RAM ディスクが設定されており、**[デバイスの設定]** で選択されている場合に使用可能です。

試し刷り印刷を行い、確認した後は、コンピューターからジョブを再送信しなくても、プリントデバイスの操作パネルから残りの部数を印刷することが可能です。必要に応じて、印刷部数は変更することができます。

参考: **[試し刷り後、保留]** は、Microsoft Excel など一部のアプリケーションでは使用できません。

保存可能な **[試し刷り後、保留]** ジョブおよび **[クイックコピー]** ジョブの数は、プリントシステムの操作パネルで設定できます。ジョブが既定の数に達すると、古いジョブから順に新しいジョブと入れ替わります。**[試し刷り後、保留]** ジョブはすべて、印刷後にストレージデバイスに保存されます。ジョブは、プリントデバイスの電源がオフになる、またはジョブ保持日数を過ぎると削除されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、**[上書きモード]** で、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]** を選択します。

試し刷り後、保留ジョブの印刷

- 1 **[基本設定]** タブで、印刷部数を選択します。
- 2 **[ジョブ保存]** タブで **[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 3 **[タイプ]** リストで、**[試し刷り後、保留]** を選択します。
- 4 すべてのダイアログボックスで **[OK]** をクリックします。

プライベートプリント

[プライベートプリント] は **[ジョブ拡張機能]** の 1 つで、印刷ジョブを印刷するため 4 桁のアクセスコードが入力されるまでオプションのストレージデバイス、または RAM ディスクメモリーに保存します。ストレージデバイス容量が限界に達した状態で、新しい保存用ジョブが送信された場合は、保存されてい

る最も古いジョブが新しいジョブに差し替えられます。【プライベートプリント】ジョブは、プリントデバイスをリセットしたり、電源をオフにしたり、またはジョブ保持日数を超過すると削除されます。ジョブを削除されたくない場合は、【ジョブ保留】機能を選択してください。

機密文書をプリントデバイスに送信する場合、4桁のアクセスコードを入力する必要があります（アクセスコードは、【ジョブ名】、【ユーザー名】と共に印刷ジョブに添付されます）。アクセスコードの入力が求められるオプションを選択することもできます。プリントデバイスの操作パネルにアクセスコードが入力されるまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントデバイスのメモリーから削除されます。

保存可能な【プライベートプリント】ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除できます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、【上書きモード】で、【ジョブ名 + 日付と時間を使用】を選択します。

プライベートプリントジョブの保管

1 【ジョブ保存】タブで【ジョブ拡張機能】アイコンをクリックします。

2 【タイプ】リストで、【プライベートプリント】を選択します。

3 アクセスコードを選択するための方法を選択します。

すべての印刷ジョブに対して同じアクセスコードを使用する場合は、【印刷時にアクセスコードを入力】の選択を解除し、【アクセスコードの指定】ボックスに4桁の数字を入力します。

各印刷ジョブに対して、異なるアクセスコードを使用する場合は、【印刷時にアクセスコードを入力】を選択します。アプリケーションの【印刷】ダイアログボックスで【OK】をクリックすると、【プライベートプリント】ダイアログボックスが表示されるのでアクセスコードを入力します。

4 すべてのダイアログボックスで【OK】をクリックします。

ジョブ保留

【ジョブ保留】は、【ジョブ拡張機能】の1つで、印刷ジョブをストレージデバイスに恒久的に保存しておき、再印刷を可能にします。また、アクセスコードを使用してジョブが不正に印刷されるのを防ぐオプションも用意されています。この機能を使用するには、ストレージデバイスがインストールされていて、【デバイス設定】で選択されていることが必要です。

【ジョブ保留】で印刷したジョブは、プリントデバイスの電源を一度切った後でも再印刷が可能のため、いつでも印刷できるようにしておく必要のあるジョブなどに便利です。【ジョブ保留】ジョブを削除するには、プリントデバイスから手動で削除します。

必要に応じて、4桁のアクセスコードを【ジョブ保留】ジョブに設定して、誰にも見られないようにジョブを印刷したり、許可されたユーザーだけに印刷を制限したりすることができます。アクセスコードを設定すると、ユーザーがプリントデバイスの操作パネルからアクセスコードを入力するまで、ジョブは印刷されません。印刷後、ジョブはプリントデバイスのメモリーに残ります。

保存可能な【ジョブ保留】ジョブの数は、ストレージデバイスの容量のみに制限されます。ジョブは操作パネルから手動で削除することもできます。

警告: 印刷ジョブは、ストレージデバイス内にある、同じユーザー名とジョブ名を持つジョブを上書きします。こうした状況を防ぐには、**[上書きモード]**で、**[ジョブ名 + 日付と時間を使用]**を選択します。

参考: この機能を SD カードで使用する際は、**[デバイス設定]**で、**[RAM ディスク]**のチェックボックスをオフにします。デバイスの RAM ディスク設定もオフにします。

ジョブ保留ジョブの保管

- 1 **[ジョブ保存]** タブで **[ジョブ拡張機能]** アイコンをクリックします。
- 2 **[タイプ]** リストで、**[ジョブ保留]** を選択します。
- 3 文書へのアクセスを制限したい場合は、**[アクセスコード]** のチェックボックスを選択して、ボックスに 4 桁の数字を入力します。
- 4 **[OK]** をクリックして **[印刷]** ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **[OK]** をクリックして印刷を開始します。

ジョブ名

[ジョブ名] は、印刷ジョブごとの識別名です。これはプリントシステムの操作パネルからジョブを検索したり、印刷したりするのに便利です。**[ジョブ拡張機能]** のいずれかを使用して印刷ジョブを送信する場合、ジョブにカスタム名を割り当てたり、アプリケーションファイルの名前を使用したりできます。

Microsoft Word および PowerPoint では、アプリケーションで定義される **[ジョブ名]** にアプリケーション名を含めたり、除外したりできます。またプリントシステムのメモリー内のジョブを印刷するとき、同じ **[ジョブ名]** を持つ新しいジョブによって置き換えられないようにすることもできます。

アプリケーション名をジョブ名に使用しない

[アプリケーション名をジョブ名に使用しない] は、ジョブ拡張機能でジョブ名からアプリケーション名を削除するオプションです。**[アプリケーション名をジョブ名に使用しない]** を選択すると、選択したファイル名がジョブリストにわかりやすく表示されます。この機能は、Microsoft Word または PowerPoint から印刷する場合にのみ使用できます。

上書きモード

[上書きモード] は、保存された印刷ジョブが同じ **[ジョブ名]** を持つ新しいジョブによって、プリントシステムのメモリー内で置き換えられないようにするためのオプションです。ユーザーが同じ **[ユーザー名]** と **[ジョブ名]** を持つ 2 つの印刷ジョブを送信した場合、2 番目のジョブは何のメッセージも表示しないで最初のジョブに置き換わります。これを防ぐために、**[上書きモード]** はジョブが送信された日付と時間を追加して自動的に **[ジョブ名]** を変更します。また、この機能は、PC から印刷ジョブが送信された時間を追跡するのにも役立ちます。

選択されたオプションは、**[アプリケーション定義]** または **[ユーザー定義]** が選択された **[ジョブ名]** に適用されます。**[上書きモード]** オプションには、次のものがあります。

[既存のファイルを置き換える]

このオプションは、同じ【ユーザー名】および同じ【ジョブ名】が存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

【ジョブ名 + 日付と時間を使用】

このオプションは、現在の日付と時間を【ジョブ名】の後ろに追加します。同じジョブ名である前回の印刷ジョブは、プリントシステムのメモリーに残ります。

ジョブ名を選択

【ジョブ拡張機能】を使用する際に、プリントシステムの操作パネルに表示されるジョブリストから目的のジョブを確認できるよう、【ジョブ名】を設定することができます。選択した【ジョブ名】は、ジョブがプリントシステムに送信されるときに、印刷ジョブとともに保存されます。

1 【ジョブ保存】>【ジョブ名】で名前を選択します。

【アプリケーション定義】

アプリケーションの文書名を【ジョブ名】として使用します。Microsoft Word または PowerPoint 文書の場合、【アプリケーション名をジョブ名に使用しない】を選択すると、【ジョブ名】としてドキュメント名のみを表示するためにアプリケーション名が削除されます。

【ユーザー定義】

このオプションは、ジョブごとに一意の名前を使用します。79 文字以内でボックスに名前を入力します。

2 同じ【ジョブ名】のジョブがプリントシステムのメモリーにすでに存在する場合は、【上書きモード】オプションを選択します。

【既存のファイルを置き換える】

同じ【ユーザー名】および同じ【ジョブ名】のジョブが存在する場合、現在の印刷ジョブによってプリントシステムメモリー内の既存のジョブが置き換わります。

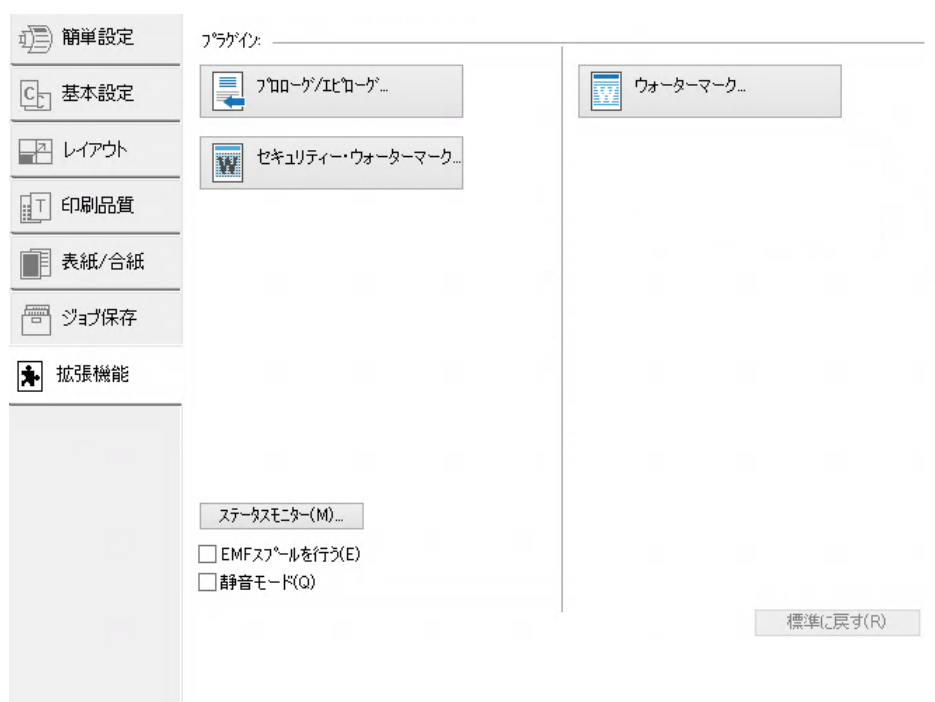
【ジョブ名 + 日付と時間を使用】

現在の日付と時間を【ジョブ名】の後ろに追加します。

10 拡張機能

【拡張機能】タブでは、プリントデバイスの機能を拡張させる特殊な機能を選択できます。

【標準に戻す】をクリックすると、**【EMF スプールを行う】**と**【静音モード】**は、プリンタードライバーの**【印刷設定】**で設定されたデフォルト設定に戻ります。**【標準に戻す】**ボタンは、アプリケーションの**【印刷】**ダイアログボックスからプリンタードライバーにアクセスした場合に表示されます。



プロローグ/エピローグ

【プロローグ/エピローグ】を使用すると、印刷ジョブの始めまたは終わりにコマンドファイルを挿入することができます。コマンドファイルは、本機に搭載されているプリスクライプ言語のプログラミングコマンドを使用します。

コマンドファイルは一連の命令であり、プリントシステムはこれを解釈して所定の出力を生成します。たとえばレターヘッドのように、文書の決まった位置にロゴなどを印刷するために、**【プロローグ/エピローグ】**コマンドファイルにマクロを挿入することができます。または、**【基本設定】**タブの**【カーボンコピー】**機能を使用している場合は、カーボンコピーに見出しを挿入できます。

印刷ジョブに追加する前に、お使いの PC で**【プロローグ/エピローグ】**ファイルを使用可能にしておく必要があります。このファイルを作成するには、Windows のメモ帳などのテキストエディターを使用します。PC で**【編集】**をクリックして、**【プロローグ/エピローグ】**ファイルを編集できます。コマンドファイルを編集して保存すると、既存のローカルまたはネットワークファイルの内容を書き換えます。

リストで**【プロログ/エピログ】**ファイルを選択して**【削除】**をクリックすることにより、ファイルを削除できます。プロログ/エピログデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカル PCに残っています。

挿入箇所オプション

挿入箇所は、選択された**【プロログ/エピログ】**コマンドファイルが、プリントシステムによって処理される印刷ジョブ内の場所です。コマンドファイルリストの各ファイルに割り当てられる挿入箇所は1つです。

参考: PDLとして**【PCL 5e】**を選択した場合のみ、**【ページのはじめ】**と**【ページの終わり】**の挿入箇所オプションが使用できます。

【なし【未設定】】

選択したコマンドファイルは印刷ジョブに挿入されません。この選択は、複数のコマンドファイルがある場合に、特定のコマンドファイルだけを使用する際に使用できます。コマンドファイルを使用しない印刷ジョブには、**【なし【未設定】】**を選択します。

【文書のはじめ】

コマンドファイルは印刷ジョブの最初のページに挿入されます。文書は2ページ目から印刷が開始されます。

【文書の終わり】

コマンドファイルは印刷ジョブの最終ページに挿入され、文書の最終ページの後に印刷されます。

【ページのはじめ】

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの前に挿入されます。

【ページの終わり】

コマンドファイルは、印刷ジョブの各ページの後ろに挿入されます。

【奇数ページに挿入】

【ページのはじめ】または**【ページの終わり】**を選択すると、このオプションを選択して、すべての奇数ページにコマンドファイルを挿入することができます。

【偶数ページに挿入】

【ページのはじめ】または**【ページの終わり】**を選択すると、このオプションを選択して、すべての偶数ページにコマンドファイルを挿入することができます。

【ページ指定】

【ページのはじめ】または**【ページの終わり】**を選択すると、このオプションを使用して指定されたページにコマンドファイルを挿入することができます。テキストボックスにページ番号をカンマで区切って入力するか、またはハイフンで区切ってページ範囲を指定します。

プロログ/エピログファイルの選択と割り当て

- 1 **【拡張機能】** > **【プロログ/エピログ】** で、**【参照】** をクリックして**【プロログ/エピログ】** ファイル (.TXT、.LOG) を選択し、**【プロログ/エピログデータファイル】** リストに追加することができます。
- 2 リストからファイルを選択します。

- 3 **[挿入箇所]** で、**[プロローグ/エピローグ]** ファイルを挿入する場所を選択、または **[なし [未設定]]** を選択します。
- 4 必要に応じて、手順 1 - 3 を繰り返してファイルを追加します。
- 5 **[OK]** をクリックします。

プロローグ/エピローグファイルの編集

PC で **[プロローグ/エピローグ]** ファイルを編集できます。

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストから **[プロローグ/エピローグ データファイル]** を選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 テキストエディターが開いてから、ファイルの変更を行います。
- 3 ファイルを保存し、終了します。

参考: コマンドファイルを編集して保存すると、ローカルまたはネットワークにある既存ファイルの内容が上書きされます。

プロローグ/エピローグファイルの削除

- 1 **[拡張機能]** > **[プロローグ/エピローグ]** で、リストから **[プロローグ/エピローグ データファイル]** を選択し、**[削除]** をクリックします。
- 2 削除を確認するボックスが表示されたら、確認して **[はい]** をクリックします。

参考: プロローグ/エピローグデータファイルからはファイル名だけが削除されます。ファイルそのものは削除されず、ネットワークまたはローカル PC に残っています。

ウォーターマーク

ウォーターマークは目に見える画像またはパターンで、ページ上または文書全体に配置できます。デフォルトのウォーターマークを 1 つ選択するか、独自の文字列を作成するか、または画像を使用することができます。ダイアログボックスのプレビュー領域には、ウォーターマークがどのように表示されるかが示されます。これはウォーターマークの外観や位置を変更するとき便利です。

デフォルトのウォーターマークは限られた数のオプションしか変更できませんが、どのウォーターマークでも編集可能です。

ウォーターマークに画像を使用したい場合は、印刷ジョブに追加する前に、お使いの PC で画像ファイルを準備しておく必要があります。

ウォーターマークの**[間隔]**には、単位がインチまたはミリメートルで表示されます。**[デバイス設定]** からアクセスして、**[ユーザー設定]** ダイアログボックスの**[単位]**設定を変更できます。

管理者は、**[デバイス設定]** > **[管理者設定]** > **[ロック設定]** を選択し、**[ウォーターマーク]**を選択することによって、すべてのジョブにウォーターマークが印刷されるようにすることができます。

ウォーターマーク文字列を追加または編集

- 1 **[拡張機能] > [ウォーターマーク]** で **[新規]** をクリックしてカスタムのウォーターマーク文字列を作成します。
デフォルトまたはカスタムのウォーターマーク文字列を編集するには、リストから対象の文字列を選択します。
- 2 **[設定名]** に、最大 39 文字で名前を入力します。デフォルトのウォーターマーク名は変更できません。
- 3 **[ウォーターマーク文字列]** に、希望する文字列を入力します。デフォルトのウォーターマーク文字列を編集する場合は、このオプションは使用できません。
- 4 文字列のフォント、サイズ、スタイルを設定します。
- 5 リストからウォーターマーク文字列の色を選択します。利用可能なオプションは、グレーと黒です。
- 6 ウォーターマークの **[数]** は 20 個まで設定できます。**[間隔]** のボックスに、2 つ以上のウォーターマーク文字列の間の距離をインチまたはミリメートルで入力、または選択します。
- 7 **[角度]**、**[水平位置]**、**[垂直位置]** ボックスで、ウォーターマーク文字列の位置を選択します。
プレビュー領域の下にあるボタンをクリックしてからウォーターマーク文字列をクリックして、文字列の位置と角度を変更することもできます。ウォーターマーク文字列を、ドラッグ操作で移動または回転できます。
ダイアログボックスの下部にある **[中心を軸に回転]** チェックボックスでは、ウォーターマーク文字列の回転方法を設定できます。**[中心を軸に回転]** チェックボックスにチェックを入れると文字列の中央を、チェックを外すと文字列の左端を軸にして、ウォーターマーク文字列の回転を調整できます。
- 8 **[印刷面]** で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。
 - [すべてのページ]**
このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。
 - [最初のページのみ]**
このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。
 - [最初のページ以外すべて]**
このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。
 - [指定したページ]**
このオプションは、ボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。
 - [表紙の外側]**
このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。表紙への印刷は、**[表紙/合紙]** タブで **[表紙付け]** を選択する必要があります。**[表紙/合紙]**

タブの**【表紙付け】**で、**【表紙のみ】**と**【外側】**が選択されている場合は、**【表紙の外側】**が自動的に選択されます。

9 **【追加】**をクリックし、ウォーターマークを保存します。

10 すべてのダイアログボックスで**【OK】**をクリックします。

ウォーターマークイメージを追加または編集

1 **【拡張機能】**>**【ウォーターマーク】**で**【新規】**をクリックし、カスタムのウォーターマークイメージを作成します。

カスタムのウォーターマークイメージを編集するには、リストから対象のイメージを選択します。

2 **【設定名】**に、最大 39 文字で名前を入力します。

3 **【ウォーターマークイメージ】**で**【参照】**をクリックし、お使いのコンピュータに保存しているイメージファイル（ビットマップ、JPEG、GIF、PNG）を選択します。

4 **【縮小・拡大】**で、ウォーターマークイメージのサイズを「1%」から「1000%」までの間で指定して、縮小または拡大します。**【自動】**を選択すると、イメージ全体がページの中心に配置されます。

5 **【不透明度】**では、ウォーターマークイメージの濃度を「1%」から「100%」までの間で選択します。

6 **【角度】**、**【水平位置】**、**【垂直位置】**ボックスで、ウォーターマークイメージの位置を選択します。**【自動】**を選択すると、イメージ全体がページの中心に配置されます。

プレビュー領域の下にあるボタンをクリックしてからウォーターマークイメージをクリックし、イメージの位置と角度を変更することもできます。ウォーターマークイメージを、ドラッグ操作で移動または回転できます。

ダイアログボックスの下部にある**【中心を軸に回転】**チェックボックスでは、ウォーターマークイメージの回転方法を設定できます。**【中心を軸に回転】**チェックボックスにチェックを入れるとイメージの中央を、チェックを外すとイメージの左端を軸にして、ウォーターマークイメージの回転を調整できます。

7 **【印刷面】**で、ウォーターマークを印刷するページを選択します。

【すべてのページ】

このオプションは、文書の各ページにウォーターマークを印刷します。

【最初のページのみ】

このオプションは、文書の最初のページにウォーターマークを印刷します。

【最初のページ以外すべて】

このオプションは、最初のページの後、すべてのページにウォーターマークを印刷します。

【指定したページ】

このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにウォーターマークを印刷します。

【表紙の外側】

このオプションは、表紙にウォーターマークを印刷します。このオプションは、**【表紙/合紙】** タブで **【表紙付け】** が選択されている場合に使用可能です。**【表紙/合紙】** タブの **【表紙付け】** で、**【表紙のみ】** と **【外側】** が選択されている場合は、**【表紙の外側】** が自動的に選択されます。

8 **【追加】** をクリックし、ウォーターマークを保存します。

9 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

セキュリティ・ウォーターマーク

【セキュリティ・ウォーターマーク】 は、ほとんど目で見ることのできない画像やテキストを背景に印刷するプラグインです。セキュリティ・ウォーターマークは、印刷したページをコピーした場合にのみ表示されます。この機能により、コピーが禁止されている印刷文書を識別したり、元の文書とコピーされた文書を区別したりすることを可能にします。標準では、6 種類のテキストまたは画像のセキュリティ・ウォーターマークを使用できますが、ユーザー独自のセキュリティ・ウォーターマーク文字列を作成することもできます。

【オプションのコンポーネントウィザード】 では、プリンタードライバーのインストール後、**【セキュリティ・ウォーターマーク】** プラグインをインストールできます。

【PCL XL】 が PDL として選択されている場合、**【拡張機能】** タブで **【セキュリティ・ウォーターマーク】** が使用できます。

デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークは限られた数のオプションしか変更できませんが、どのセキュリティ・ウォーターマークでも編集可能です。

セキュリティ・ウォーターマークの **【ガードパターン】** 機能を使用すると、文書が不正にコピー、スキャン、ファクス送信されたり、メモリーから印刷されたりすることを防ぎます。スキャン、ファクス送信、あるいはメモリーからの印刷が試みられると、印刷処理が停止し、プリントシステムの動作パネルにメッセージが表示されます。

セキュリティ・ウォーターマークを効果的に使用するには、印刷した用紙ではほとんど見えないようにし、コピーした用紙でははっきり表示されるようにする必要があります。プリントデバイスとドライバーの設定は、印刷ジョブによってそれぞれ異なるため、セキュリティ・ウォーターマークを印刷する前に、パターンの濃度とコントラストの調整を行う必要があります。このパターン調整は、背景パターンを変更した際、トナーまたはプリントデバイスを交換した際、負荷の高い印刷を行った後にも行うことをお勧めします。

【セキュリティ・ウォーターマーク】 を選択すると、ドライバーの各機能は次のように設定されます。

【拡張機能】 タブの **【ウォーターマーク】** は、**【なし】** に設定されます。

【印刷品質】 > **【品質設定】** > **【ユーザー定義】** > **【カスタム品質】** で、**【解像度】** は **【600 dpi】** に設定されます。

【印刷品質】 > **【品質設定】** > **【ユーザー定義】** > **【カスタム品質】** で、**【KIR】** は **【オフ】** に設定されます。

【簡単設定】、**【基本設定】**、または **【印刷品質】** の **【エコプリント】** は **【オフ】** に設定されます。

[印刷品質] > [調整] > [ユーザー定義] の [バランス調整] ([明るさ] と [コントラスト]) は [0] に設定されます。

また、この逆も同様です。これらの設定が変更された場合、[セキュリティ・ウォーターマーク] の選択は [なし] に設定されて使用できません。

管理者は、[デバイス設定] > [管理者設定] > [ロック設定] を選択し、[セキュリティ・ウォーターマーク] を選択することによって、すべてのジョブにセキュリティ・ウォーターマークを印刷できます。

セキュリティ・ウォーターマークの追加または編集

- 1 [拡張機能] > [セキュリティ・ウォーターマーク] で [新規] をクリックしてカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを作成します。
デフォルトまたはカスタムのセキュリティ・ウォーターマークを編集するには、リストから対象のセキュリティ・ウォーターマークを選択します。
- 2 [セキュリティ・ウォーターマーク名] に、名前を入力します (最大 39 文字)。デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークの名前は変更できません。
- 3 [文字列] では、最大 3 行までのテキストを入力します。デフォルトのセキュリティ・ウォーターマークを編集する場合は、このオプションは使用できません。次のオプションから選択してください。
 - [なし]
このオプションは、空行のままにします。
 - [ユーザー定義]
このオプションには、最大 39 文字までのテキストを入力することができます。
これ以外のオプションでは、ジョブの印刷時に PC またはプリンタードライバーから取得した日付や時刻およびその他のジョブ情報が表示されます。
- 4 文字列のフォント、サイズ、スタイルおよび角度を選択します。
- 5 セキュリティ・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。
 - [ガードパターン]
ガードパターンは、セキュリティ・ウォーターマークの背景として表示されます。
 - [パターン]
セキュリティ・ウォーターマークの背景となるデザインを選択します。
- 6 [濃度] および [コントラスト] で、次の中から初期オプションを選択します。
 - [薄く]、[普通]、[濃く]
背景パターンの濃度を選択します。
 - [コントラスト 1-9]
背景パターンに対するコントラストを、最も薄いレベルから最も濃いレベルの中で選択します。

ここでの選択内容は、次の手順でサンプルを印刷した結果を見て、必要に応じて変えることができます。

- 7 **【サンプル印字】** をクリックすると、選択したパターン濃淡で 9 種類のすべてのコントラストが表示されたページを印刷することができます。パターン濃淡のオプションごとに、サンプルページを印刷することをお勧めします。
- 8 サンプル印刷の中から、セキュリティー・ウォーターマークが最も写っていないサンプルを選びます。
- 9 **【セキュリティー・ウォーターマーク】** ダイアログボックスで、手順 8 にて選択したサンプルにマッチする **【濃度】** および **【コントラスト】** のオプションを選択します。
- 10 **【印刷面】** で、セキュリティー・ウォーターマークを印刷するページを選択します。
 - 【すべてのページ】**
このオプションは、文書の各ページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - 【最初のページのみ】**
このオプションは、文書の最初のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - 【最初のページ以外すべて】**
このオプションは、最初のページの後、すべてのページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - 【指定したページ】**
このオプションは、テキストボックスに入力した番号のページにセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。
 - 【表紙の外側】**
このオプションは、表紙にセキュリティー・ウォーターマークを印刷します。このオプションは、**【表紙/合紙】** タブで **【表紙付け】** が選択されている場合に使用可能です。**【表紙/合紙】** タブの **【表紙付け】** で、**【表紙のみ】** と **【外側】** が選択されている場合は、**【表紙の外側】** が自動的に選択されます。
- 11 ウォーターマークの文字列の 1 行目をページの下部に印刷する場合は、**【フッターにも印刷】** を選択します。アイコンをクリックして、ページの位置を選択します。このオプションは、通常セキュリティー・ウォーターマークそのものは印刷ページに表示されないもので、便利です。
- 12 文書の内容がページ全体にわたっている Microsoft PowerPoint や Internet Explorer などのアプリケーションの場合は、**【上書きモード】** を選択します。セキュリティー・ウォーターマークは文書データに重ねられて印刷され、コピーした際に現れます。画像を編集している場合、または **【ページ記述言語 (PDL)】** ダイアログボックスで **【GDI 互換モード】** が選択されている場合、**【上書きモード】** が自動的に選択されます。
- 13 **【追加】** をクリックし、セキュリティー・ウォーターマークを保存します。
- 14 すべてのダイアログボックスで **【OK】** をクリックします。

ステータスマニター通知

【ステータスマニター】は、ジョブの印刷中にプリントシステムのステータス情報を表示します。プリントシステムのイベントに、サウンドと音声による通知を設定することもできます。

サポートされているプリントシステムごとに、ステータスマニターを起動できます。同時に複数のステータスマニターを表示できます。

ステータスマニター通知の設定

- 1 **【拡張機能】** タブで、**【ステータスマニター】** をクリックします。
- 2 **【ステータスマニター通知】** ダイアログボックスで、**【イベントの通知を有効にする】** チェックボックスを選択します。
- 3 サウンドまたは音声による通知を追加するには、**【有効なイベント】** リストからイベントを選択します。
 - 【カバーオープン】**
 - 【紙づまり】**
 - 【用紙切れ】**
 - 【スリープ】**
 - 【トナー切れ】**
 - 【トナー残量少】**
 - 【未接続】**
 - 【印刷完了】**
 - 【その他】**
- 4 **【サウンドファイル / 読み上げるテキスト】** の下で、選択したイベントの右側をクリックし、次に進みます。

サウンドファイルを追加するには、サウンドファイル (.WAV) の場所を入力するか、**【参照】** をクリックして、PC に保存しているサウンドファイルを見つけます。

音声を追加するには、任意のテキストを 260 文字以内で入力します。Microsoft 社の**【音声合成】** 機能は、入力したテキストを音声で読み上げます。
- 5 他のイベントにサウンドまたは音声を追加するには、手順 3 と手順 4 を繰り返します。
- 6 **【OK】** をクリックします。

ステータスマニターの表示

- 1 ステータスマニターに印刷ジョブやプリントシステムの情報を表示して確認することができます。

ジョブタブには、各印刷ジョブの情報が表示されます。ジョブをキャンセルするには、ジョブを右クリックして**【キャンセル】** をクリックします。

給紙タブには、各カセットと手差しトレイの情報が表示されます。

トナータブには、各トナーのレベルが表示されます。

警告タブには、**[待機中]** またはイベント情報が表示されます。複数のイベントの場合、各イベントをクリックして詳細を表示します。

- 2 矢印をクリックして、詳細の表示・非表示を切り替えます。
- 3 オプションのリストを表示するには、ツールアイコンをクリックして使用できるオプションを選択します。
 - [プリントシステムの設定]**
ネットワークに接続している場合、ブラウザを開いてプリントシステムのホームページを表示します。このオプションはUSB接続では使用できません。
 - [通知]**
 - [ステータスマニター通知]** ダイアログボックスを開きます。
 - [アプリケーションの終了]**
ステータスマニターを閉じます。

EMF スプール

エンハンスメタファイル (EMF) は、Microsoft Windows オペレーティングシステムによる印刷で使用するスプールファイル形式です。アプリケーションから印刷ジョブが送られると、ジョブはスプールファイルに転送されます。アプリケーションはスプールファイルに書き込み、プリンタードライバーは同時にスプールファイルから読み取ります。複数の文書や大量の文書を印刷する場合、この機能を使用すると、プリンターがまだ文書を印刷している間でもユーザーはアプリケーションにすばやく戻ることができます。

参考: **[EMF スプールを行う]** は、**[ページ記述言語 (PDL)]** ダイアログボックスで **[パススルーモード]** が選択されている場合は使用できません。

EMF スプールの選択

- 1 **[拡張機能]** タブで、**[EMF スプールを行う]** チェックボックスを選択します。
- 2 **[OK]** をクリックします。

静音モード

[静音モード] のチェックボックスを選択すると、通常より静かなモードで印刷できます。プリントシステムの操作パネルでジョブごとに静音モードを許可すると、ドライバの **[静音モード]** が印刷時に有効になります。

クライアントプロファイルの有効化

クライアント PC 上で保存されているプロファイル設定を、クライアントプロファイルと呼びます。ローカルプロファイルとサーバープロファイルのどちらを使用するかを選択できます。この機能は、クライアント/サーバー環境のクライアント PC 側で使います。

サーバーからプロファイルを選択し、ドライバで作成された印刷ジョブに適用するには、**[拡張機能]** タブで、**[クライアントプロファイルを有効にする]** チェックボックスをオフにします。サーバープロファイルは読み取り専用です。

【クライアントプロファイルを有効にする】チェックボックスをオンにすると、クライアント側で作成したプロファイルが使用されます。



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎0120-534-881

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎0120-229-330

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話(03)5441-6666

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>